

遠野市
遠野町
石碑調査報告書

遠野文化研究センター

2020年11月4日

目次

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査・報告書編集期間	1
5. 調査・執筆・編集・監修者	1
6. 調査結果	1
(1)所在地別分類	2
・表1 所在地別石碑一覧	3
(2)造立年代別分類	19
・表2 年代順石碑一覧	20
(3)種類別分類	37
・表3 種類別石碑一覧	38
7. 考察	55
(1)顕彰記念碑	55
(2)標石(跡地)	56
(3)畜霊供養塔	56
(4)まとめ	57
・表4 石碑写真一覧	58
・石碑等分布図	

1. 調査の目的

『遠野物語』の序文に「路傍に石塔の多きこと諸国その比を知らず」と著されているように、遠野市内には多くの石碑が存在するが、その数、種類、建立時代など詳細は明らかになっていない。

これらの石碑を調査することによって、地域の歴史や文化の一端を明らかにし、貴重な地域資源として次代へ引き継ぐとともに、人づくりや地域づくりの一助とすることを目的とする。

2. 調査対象

遠野町の15町（鶯崎町、上組町、穀町、材木町、下組町、新穀町、新町、大工町、中央通り、遠野町、早瀬町、東上組町、東穀町、東館町、六日町）に存在する石碑（令和元年9月時点まで）

近現代に建てられたとみられる記念碑、歌碑等も含める。墓碑・狛犬・石鳥居・金精様等の石造物も併せて調査したが、表1～4では除外した（除外した石造物158基）。

3. 調査方法

可能な限り現地を歩き主に悉皆調査を行ったほか、現地での聞き込みも実施した。地図上にて石碑や神社の記号がある場所を重点的に調査した。

4. 調査・報告書編集期間

平成30年4月～令和2年10月

5. 調査・執筆・編集・監修者

本編の調査・執筆は小笠原史絵子・佐藤夏穂（遠野市文化課学芸調査補助員）が担当し、編集は小笠原史絵子が担当した。監修は前川さおり（遠野市文化課副主幹）が担当した。

6. 調査結果

石碑総数	384基（表1～4で除外した石造物を含む）
所在地別	64地点

※表の凡例

- ・【 】内の文字は、梵字、図等を示す。
- ・□は解読できなかった文字を示す。
- ・[]内の文字は、解読できなかったが、予測できた文字を記す。
- ・（ ）内の文字は碑文の補足説明を記す。
- ・西暦、和暦が不明のものには「-」の表示とした。

(1) 所在地別分類

今回の調査範囲内で寺院は8、神社は小さいものも含めれば15以上あり、その中で集中してあった地点3ヶ所について取り上げる。

○遠野第二ダム手前 21基

市街地から上郷町方面へ向かうと、遠野第二ダム手前の道路脇に石碑群がある。18基もの石碑が1つの台座にあり、その横に3基建立されている。

○欠ノ上稲荷神社 19基

北側と南側にそれぞれ参道があり、敷地面積が広い。【23】青麻山道路開通記念碑、【29】奉齋水速女之大神、【30】姫金神など、珍しい石碑も建っている。

○南部神社 17基

石燈籠や狛犬や七福神の像などを含めれば35基もの石造物がある。また、参道には顕彰記念碑も多くある。

今回の調査範囲で最も石碑が集中していたエリアは、南部神社や鍋倉城跡や鍋倉公園展望台のある鍋倉山である。また、鍋倉山周辺にも標石や記念碑や詩歌碑など、いくつか石碑が建立されている。

寺院の多い大工町にも石碑が集中しており、寺院の中では善明寺が11基と多い。善明寺には遠野市の指定文化財の五輪塔がある。この五輪塔は阿曾沼氏の墓石と伝えられており、遠野地方に現存する最古の墓碑である。墓石は今回の調査からは除外しているが、中心市街地の墓所には他にも、清心尼公の墓石、久子翠峰の墓石、伊能嘉矩の墓石などが残っている。

表1 所在地別石碑一覧

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【1】	1	①	遠野ダム傍洞 水位観測所付近	1974	昭和49/4/吉日	記念	物見山 民話の古里遠野の母なる山(以下本文略) 昭和四十九年四月吉日 (裏面) 物見山牧野組合員名簿 理事 新里善治(以下143名の名前あり) 綾織町 山田石材	本体 93.0 台座① 23.0 台座② 70.3	本体 217.0 台座① 30.5 台座② 224.0	本体 21.5 台座① 61.0 台座② 104.5	
【2】	1	②	遠野ダム傍洞 水位観測所付近	1931	昭和6/10/15	記念	縮田山記念碑 縮田山林場植林之碑位勲三等(以下本文略) 大正六年十二月下洗 (右側面) 昭和六年十月十五日 建設 (裏面) □下當時町會議員 菊池松雄(以下60名の名前あり) 昭和六年十月十五日 建設	本体 195.0 台座 54.0	本体 104.0 台座 220.0	本体 50.0 台座 96.0	
【3】	2	①	遠野ダム脇	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	154.0	約180.0	約115.0	
【4】	2	②	遠野ダム脇	-	-	不明	[神] (左右に文字あるが、解読出来ず)	約194.0	約176.0	約130.0	
【5】	3	①	田 稻荷神社	1919	大正8/旧3/15	社寺	三峰山 (裏面) 大正八年旧三月十五日 萩野妙光 建之	本体 58.0 台座 10.0	本体 21.0 台座 47.0	本体 14.0 台座 51.0	周囲に柵あり 右手に祠と稻荷社あり 手前に台あり 御賽銭あり
【6】	4	①	田 遠野住田線沿い	-	-	神仏	水神	本体 26.0 台座 15.0	本体 16.0 台座 47.0	本体 6.0 台座 37.0	
【7】	4	②	田 遠野住田線沿い	1936	昭和11/閏3/8	神仏	水神 (裏面) 昭和十一年閏三月八日 萩野勘次郎] 立之	本体 28.0 台座 16.0	本体 18.0 台座 35.5	本体 8.0 台座 38.0	石碑と台座がコンクリートのようなので固定されている
【8】	4	③	田 遠野住田線沿い	1948	昭和23/3/8	神仏	三寶荒神 (裏面) 昭和廿三年三月八日 勘次郎建	本体 41.0 台座 13.0	本体 27.0 台座 47.0	本体 6.0 台座 30.0	石碑と台座がコンクリートのようなので固定されている
【9】	5	①	遠野第二ダム	-	-	標石	遠野第二ダム 岩手県知事 遠増拓也書	本体 約120.0 台座① 約36.0 台座② 約50.0	本体 約230.0 台座① 約72.0 台座② 約108.0	本体 約65.0 台座① 約138.0 台座② 約180.0	
【10】	6	①	九重沢不動堂	[1928]	[昭][和]3/11/10	標石	九重沢不動尊碑 [昭][和]三[年] 御大典記念 (右側面) 昭和三年十一月十日 (左側面) 奉納者 遠野町字穀町平澤庄右衛門	本体 269.0 台座 約70.0	本体 36.5 台座 測定不能	本体 24.5 台座 測定不能	文字着色(黒)あり
【11】	6	②	九重沢不動堂	-	[嘉][永]□/□/8	神仏	不動尊 [嘉][永]□ □月八日	本体 125.0 台座 57.0	本体 123.0 台座 160.0	本体 48.0 台座 121.0	
【12】	7	①	程洞稻荷社 (入口)	1977	昭和52/8/-	標石	程洞社参道 (裏面) 昭. 五. 二. 八. 三郎刻建	本体 66.0 台座 9.0	本体 37.0 台座 43.5	本体 13.0 台座 31.5	
【13】	7	②	程洞稻荷社 (入口)	-	-	標石	奉納	本体 32.0 台座 7.0	本体 38.0 台座 32.5	本体 17.0 台座 測定不能	
【14】	7	③	程洞稻荷社 (入口)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	110.0	31.0	19.0	倒れていて埋没 塗料(赤)付着
【15】	7	④	程洞稻荷社 (境内)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	42.0	30.0	17.0	
【16】	7	⑤	程洞稻荷社 (境内)	1923	大正12/-/-	社寺	金華山 (裏面) 大正十二年 (多数名前あるが、摩耗して読めず)	本体 202.0 台座 61.0	本体 117.5 台座 256.0	本体 76.0 台座 125.0	注連縄あり 御神酒あり
【17】	7	⑥	程洞稻荷社 (境内)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	152.0	120.0	135.0	御神酒あり 御稲荷さんあり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【18】	7	⑦	程洞稲荷社 (境内)	1930	昭和5/2/8	神仏	水神 奉納 (左側面) 昭.五.二.八	本体 37.0 台座 23.0	本体 27.0 台座 39.0	本体 24.0 台座 44.0	
【19】	7	⑧	程洞稲荷社 (境内)	1977	昭和52/7/-	標石	壺水 (左側面) 奉納 下組町三郎 作 (裏面) 昭.五.二.七	本体 40.0 台座 9.0	本体 24.0 台座 32.5	本体 16.0 台座 32.0	注連縄あり
【20】	7	⑨	程洞稲荷社 (境内)	-	-	神仏	山神	本体 74.0 台座 63.5	本体 53.5 台座 103.0	本体 2.0 台座 88.0	御賽銭あり
【21】	8	①	程洞稲荷社 壺水場	-	-	不明	(碑文解説出来ず)	60.0	90.0	40.0	
【22】	9	①	東北自動車道 鍋倉トンネル付近 山中	1954	昭和29/4/-	記念・ 亡者 供養	遺族の森之碑 昭和二十九年四月植樹 遠野町遺族会 栃内貴峰謹書 (左側面) 昭和六年満州事変起り更に(以下本文略) 会長 伊藤重蔵(以下14名の名前あり) (裏面) 遠野遺族会 昭和二十二年五月結成 初代会長 伊藤 栄一(以下150名の名前あり) 石工 菊池隆太郎 佐々木丑松	本体 106.0 台座 68.0	本体 77.0 台座 158.0	本体 47.5 台座 約110.0	
【23】	10	①	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1931	昭和6/4/10	記念	青麻山道路開通記念碑 昭和六年四月十日 開通者 平澤庄右エ門	本体 84.0 台座 16.0	本体 32.0 台座 60.0	本体 28.0 台座 測定不能	
【24】	10	②	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	-	明治30/12/-	神仏	山神 (右側面) 遠野町 堀切重之助(以下4名の名前あり) (左側面) 明治卅 十二月	45.0	32.0	27.0	下部埋没
【25】	10	③	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1944	昭和19/3/15	社寺	古峰山 (裏面) 立花政吉(以下23名の名前あり) 昭和十九年三月十五日	本体 159.0 台座 29.0	本体 89.0 台座 122.0	本体 64.0 台座 測定不能	
【26】	10	④	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1849	嘉永2/旧6/15	畜霊 供養	龜塚 (裏面) 嘉永二酉年 旧六月十五日	本体 100.0 台座 29.0	本体 70.0 台座 約66.0	本体 33.0 台座 67.0	釜石湾の大亀を長 年欠ノ上稲荷で飼 育していた。死亡後 に塚を建てた。
【27】	10	⑤	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	-	-	社寺	金毘羅	32.0	17.0	10.0	斜面になっていて 裏面不明 下部埋没
【28】	10	⑥	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1917	大正6/11/吉日	畜霊 供養	蛇王権現 (右側面) 大正六年十一月吉日 立花巳之助 (左側に2行文字、下に名前(3名)あるが、摩耗し て読めず)	本体 58.0 台座 約6.0	本体 29.0 台座 45.0	本体 26.0 台座 測定不能	
【29】	10	⑦	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1899	明治32/6/15	神仏	奉齋水速女之大神 明治三十二年六月十五日 願主 立花巳之助	本体 58.0 台座 11.0	本体 20.0 台座 64.0	本体 18.0 台座 測定不能	斜面になっていて 裏面不明
【30】	10	⑧	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1955	昭和30/2/2	神仏	姫金神 (裏面) 昭和三十年二月二日 及川三蔵	本体 40.0 台座① 28.0 台座② 55.0	本体 26.0 台座① 80.0 台座② 98.0	本体 9.0 台座① 73.0 台座② 118.0	御賽銭あり
【31】	10	⑨	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1922	大正11/旧6/15	神仏	祈願 雷神 内稲荷大神 (右側面) 大正十一年 旧六月十五日 (左側面) 日下□□ 建之	本体 47.0 台座① 28.0 台座② 25.0	本体 33.5 台座① 35.0 台座② 69.0	本体 29.0 台座① 39.0 台座② 71.0	文字着色(朱)あり
【32】	10	⑩	欠ノ上稲荷神社 (境内)	-	-	神仏	山神	132.0	57.0	35.0	手前に台あり
【33】	10	⑪	欠ノ上稲荷神社 (境内)	-	-	神仏	稲荷大明神	本体 59.0 台座 23.5	本体 39.5 台座 49.0	本体 40.5 台座 46.5	文字着色(黒)あり 御稲荷さんあり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【34】	10	⑫	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1931	昭和6/旧6/15	標石	欠ノ上稲荷神社 (右側面) 昭和六年旧六月十五日 (左側面) 奉納者 遠野町及川西蔵	本体 293.0 台座① 15.0 台座② 67.0	本体 41.0 台座① 74.0 台座② 183.0	本体 27.5 台座① 68.5 台座② 171.0	
【35】	10	⑬	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	-	-	神仏	山神 三寶荒神	本体 55.0 台座 9.0	本体 28.0 台座 52.0	本体 15.0 台座 29.0	
【36】	10	⑭	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1958	昭和33/10/21	記念	我神之森 皇紀二千六百年拜殿新築記念 昭和三十二年十月二十一日 十五周年記念建碑 畝及謹正【印】 宮司敷八等 飛内隆助(以下13名の名前あり) (右側面) 新田建治(以下13名の名前あり) (左側面) 沢村サワ(以下19名の名前あり) (裏面) 佐々木ナヲノ(以下174名の名前あり)	本体 153.0 台座 64.0	本体 73.5 台座 約190.0	本体 16.0 台座 116.0	手前に台あり 文字の一部着色 (青)あり
【37】	10	⑮	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	-	-	不明	[齋][所]	49.5	17.0	13.0	
【38】	10	⑯	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1854	嘉永7/10/26	庚申	庚申塔 嘉永七寅年講中 十月廿六日	本体 73.0 台座 14.0	本体 33.0 台座 130.0	本体 15.0 台座 測定不能	⑯⑰台座共通 文字着色(黒)あり
【39】	10	⑰	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1846	弘化3/初冬	庚申	庚申塔 弘化三初冬講中 (右側面) 明治十七甲申再建 (裏面) 日下和一(以下9名の名前あり)	本体 101.0 台座 14.0	本体 38.0 台座 130.0	本体 15.0 台座 測定不能	⑯⑰台座共通 文字着色(黒)あり
【40】	10	⑱	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1930	昭和5/9/3	不明	(碑文解読出来ず) (右側面) 昭和五年九月三日 遠野町 開設者 平澤庄右エ門 (左側面) 世話人	93.0	37.0	34.0	正面を背に倒れて いる
【41】	10	⑲	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	-	-	詩歌	垂垂泉 紅一點能 渡し舟	本体 118.0 台座 22.0	本体 76.0 台座 測定不能	本体 21.0 台座 測定不能	
【42】	11	①	日枝神社 (入口)	1929	昭和4/旧6/1	標石	日枝神社 (左側面) □□□□□□ (裏面) 昭和四年旧六月一日 奉納 遠野町 平澤七蔵	本体 303.0 台座① 14.0 台座② 66.0	本体 41.0 台座① 91.5 台座② 196.5	本体 27.0 台座① 82.0 台座② 171.0	
【43】	11	②	日枝神社 (入口)	1934	昭和9/5/25	神仏	天満宮 (右側面) 昭和九年五月廿五日 遠野(町)□□□□一同 □人會 □□一同	本体 210.0 台座 46.0	本体 74.4 台座 134.0	本体 37.0 台座 測定不能	
【44】	11	③	日枝神社 (境内)	1933	昭8/7/28	畜霊 供養	蠶霊塔 (右側面) 昭和八年七月二十八日 (台座②右側面) 発起人 清見剛雄(以下9名の名前あり) 石工 小松三二松	本体 320.0 台座① 15.0 台座② 71.0	本体 80.0 台座① 120.5 台座② 258.0	本体 34.5 台座① 88.0 台座② 202.0	
【45】	11	④	日枝神社 (境内)	1901	明治34/6/1	神仏	日枝大神 (左側面) 明治三十四年六月一日 鶴田作平治(以下4名の名前あり)	本体 82.0 台座 33.0	本体 29.0 台座 76.0	本体 18.5 台座 64.5	
【46】	11	⑤	日枝神社 (境内)	1973	昭和48/6/30	記念	拜殿落成記念 大日山 日枝神社 古松者杉の緑いや深き処(以下本文略) 大日山日枝神社拜殿建設協賛会 会長 新里善 治(以下72名の名前あり) (台座②正面) 台石奉納者 土沢昌三 小松喜一 及川誠一 (裏面) 一、金三万円三浦設計(以下155名の名前あり) 昭和四十八年六月三十日 例祭日佳辰建之	本体 91.5 台座① 25.0 台座② 66.0	本体 237.0 台座① 23.5 台座② 234.0	本体 18.0 台座① 58.0 台座② 157.0	囲みあり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【47】	11	⑥	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/5/-	亡者 供養	消防追悼碑 (裏面) 昭和四年五月竣工 建設委員長 警部 板橋長右衛門(以下11名の名 前あり) (台座②裏面) 石工 菊池隆太郎 小松五松 菊池春吉	本体 294.0 台座① 90.0 台座② 114.0	本体 186.0 台座① 250.0 台座② 363.0	本体 48.5 台座① 154.0 台座② 269.0	文字着色(黒)あり 献花台あり 周囲に柵あり 台座①正面に消防 のマークあり
【48】	11	⑦	日枝神社 (境内)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	31.0	32.0	24.0	
【49】	11	⑧	日枝神社 (境内)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	31.0	42.0	23.0	
【50】	11	⑨	日枝神社 (境内)	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	57.0	92.0	57.0	
【51】	11	⑩	日枝神社 (境内)	1972	昭和47/11/15	畜霊 供養	愛犬乃碑 遠野市長工藤千蔵書 (台座①正面) 獣医師 加茂良三(以下5名の名前あり) 遠野市 宮守村 岩手県遠野保健所 昭和四十七年十一月十五日建立 石工 山田善一	本体 79.0 台座① 22.0 台座② 54.0	本体 175.5 台座① 95.0 台座② 186.0	本体 35.0 台座① 64.0 台座② 100.0	御賽銭あり
【52】	11	⑪	日枝神社 (境内)	1958	昭和33/-/-	記念	新里嘉助翁頌徳碑 故新里嘉助君は明治十六年(以下本文略) 昭和三十三年 後輩勲四等 泉國三郎 撰並書 (裏面) 発企人 遠野町 警防団長 泉國三郎(以下40名 の名前あり) 石工 山田	本体 195.0 台座① 28.0 台座② 91.0 台座③ 54.0	本体 74.5 台座① 106.0 台座② 197.0 台座③ 320.0	本体 14.0 台座① 61.0 台座② 144.0 台座③ 265.0	御賽銭あり
【53】	11	⑫	日枝神社 (境内)	1925	大正14/6/2	社寺	金華山 (右側面) 大正十四年六月二日 建之 (5段にわけて、名前(39名)あるが、摩耗して読め ず)	本体 133.0 台座 45.0	本体 65.0 台座 113.0	本体 62.0 台座 69.0	形:三角柱 手前に台あり 御賽銭あり
【54】	11	⑬	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/6/1	社寺	古峯山 (裏面) 昭和四年六月一日□□ (2段に分けて名前(23名)あるが、摩耗して読め ず)	本体 226.0 台座① 76.0 台座② 40.0	本体 150.0 台座① 187.0 台座② 230.0	本体 36.0 台座① 140.0 台座② 220.0	平成20年7月の地 震で倒れ、前面不 明だが、平成17年 の調査より、古峯山 と判明。 周囲に柵(破損)あ り
【55】	12	①	三丸屋向かい	-	明治□/旧3/12	神仏	山神 (左側面) 明治□年旧三月十二日 講中 (上段に名前(5名)、下段に名前(沢村仁人他7 名)あるが、摩耗して読めず)	本体 110.0 台座 17.0	本体 34.0 台座 85.0	本体 39.0 台座 74.0	手前に台あり 注連縄あり 賽銭箱あり 周囲に柵あり
【56】	12	②	三丸屋向かい	1936	昭和11/9/5	馬畜	馬頭観世 昭和十一年九月五日 會下寅	38.0	21.0	7.0	下部埋没 背後に支えの台あり
【57】	12	③	三丸屋向かい	1918	大正7/-/-	馬畜	馬頭観口 大正七年 村上小市	29.0	23.0	7.0	下部埋没
【58】	12	④	三丸屋向かい	1829	文政12/9/19	不明	【ア】月峯[道][建] 文政十二巳 九月十九	41.0	29.0	9.0	下部埋没
【59】	13	①	会下の十王堂	1947	昭和22/12/23	神仏	三寶大荒神 (裏面) 昭和廿二年十二月廿三日 會下与三郎 建之	本体 40.0 台座① 10.0 台座② 48.0	本体 19.0 台座① 47.0 台座② 190.0	本体 16.0 台座① 28.0 台座② 136.0	文字着色(黒)あり
【60】	13	②	会下の十王堂	1948	昭和23/12/23	神仏	【カーン】山神 (右側面) 昭和廿三年十二月廿三日 會下与三郎建	本体 44.0 台座① 4.0 台座② 48.0	本体 23.0 台座① 41.0 台座② 190.0	本体 17.0 台座① 37.5 台座② 136.0	下部埋没
【61】	14	①	稲荷下 屋内運動場	1997	平成9/3/-	記念	落成記念 心に安らぎを 平成9年3月 遠野市長 菊池正 書 寄贈 松田建設株式会社	本体 53.0 台座 112.0	本体 113.0 台座 71.0	本体 30.0 台座 46.0	
【62】	15	①	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/-	記念	以和為貴 稲荷下地区土地区画整理事業落成記念 平成7年3月 遠野市長 菊池正	190.0	280.0	90.0	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【63】	15	②	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/吉日	記念	事業のあまし 1目的 本地区は、遠野駅から(以下本文略) 2概要 名称 遠野都市計画稲荷下地区 土地区画整理事業(以下本文略) 平成7年3月吉日建立	160.0	176.0	65.0	
【64】	16	①	鶯崎 市営住宅向かい	—	—	記念	輪廻転生 (裏面) □□□□□ 祝正先生岩手県議会議長就任平成三年春日□□ □【印】【印】 建立者 妻八重子 石工 田中忠肝	本体 174.0 台座① 30.0 台座② 2.0	本体 73.0 台座① 106.5 台座② 136.5	本体 22.0 台座① 39.5 台座② 72.0	
【65】	16	②	鶯崎 市営住宅向かい	1994	平成6/9/吉日	記念	諸行無常 (裏面) 字打越之由来 戦国の寛永十二年(以下本文略) 平成六年九月吉日 前岩手県議会議長 遠野市長 菊池正 撰書	本体 166.0 台座 28.0	本体 106.5 台座 136.0	本体 18.5 台座 51.0	
【66】	17	①	上組町 駒形神社	1821	文政4/9/29	馬畜	馬頭観世音 文政四辛巳年 勘太 九月廿九日 平治	116.0	31.0	9.0	立て掛けてあるため 裏面は確認できず
【67】	17	②	上組町 駒形神社	—	—	馬畜	駒形神[社] 願主 太田[馬]	80.0	46.5	2.5	立て掛けてあるため 裏面確認できず 上部に穴あり(鳥居 の額だったか) 紙垂あり
【68】	17	③	上組町 駒形神社	1928	昭和3/7/-	馬畜	【円相】馬頭観[世] 昭和三年七 白金藤□建	30.0	18.0	9.5	下部埋没
【69】	17	④	上組町 駒形神社	1919	大正8/6/13	馬畜	【円相】馬頭観世音 大正八年六月十三日 藤齊伊勢松 建之	45.0	17.0	9.0	
【70】	17	⑤	上組町 駒形神社	1891	明治24/5/7	馬畜	馬頭観世音 明治廿四年五月七日 長谷口条助建	40.0	23.0	6.5	下部埋没
【71】	17	⑥	上組町 駒形神社	1858	安政5/8/23	馬畜	馬頭観世音 安政五年 八月廿三日 (裏面) 願主 菊池屋与兵衛	49.0	27.0	13.0	
【72】	18	①	上組町 跨線橋脇	1948	昭和23/旧8/8	神仏	三寶大荒神 (右側面) 昭和廿三年 旧八月八日	本体 42.0 台座 24.0	本体 27.0 台座 34.0	本体 15.0 台座 22.0	
【73】	19	①	遠野葬祭会館隣	1744	延享1/7/吉祥日	念仏・ 追分	【円相】念佛供養 (右側面) 右へかまい志道 (左側面) 左はをふつち道 (裏面) 延享甲子天 七月吉祥日	本体 66.0 台座 12.0	本体 29.5 台座 149.0	本体 17.0 台座 52.0	①②台座共通 蓮の花の絵あり 追分の碑
【74】	19	②	遠野葬祭会館隣	—	□9/7/21	庚申	泰庚申 (右側面) □九 七月廿一日	本体 64.0 台座 12.0	本体 33.0 台座 149.0	本体 17.0 台座 52.0	①②台座共通 倒れていて右側面 と裏面不明
【75】	19	③	遠野葬祭会館隣	—	文□2/7/12	念仏	【円相】南無阿弥陀佛 文□二□年 七月十二日 建之	96.0	47.0	14.0	蓮の花の絵あり
【76】	20	①	遠野第二ダム 手前	1893	明治26/2/12	神仏	山神 (右側面) 明治廿六年二月十二日	本体 116.0 台座① 74.0 台座② 6.0	本体 48.0 台座① 600.0 台座② 48.0	本体 22.0 台座 約196.0 台座② 約76.0	①～⑧台座共通 手前に台あり 紙垂あり 布(赤)あり 御賽銭あり 御神酒あり
【77】	20	②	遠野第二ダム 手前	—	□治□□/8/-	庚申	【日月】庚申 □治□□年 □□八月	本体 99.0 台座 74.0	本体 51.5 台座 600.0	本体 33.0 台座 約196.0	①～⑧台座共通
【78】	20	③	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申	【円相】庚申	本体 80.0 台座 74.0	本体 71.0 台座 600.0	本体 40.0 台座 約196.0	①～⑧台座共通 下部埋没

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【79】	20	④	遠野第二ダム 手前	1889	明治22/12/18	庚申	庚申塔 明治廿二年 十二月十八日	本体 58.0 台座 74.0	本体 36.0 台座 600.0	本体 22.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【80】	20	⑤	遠野第二ダム 手前	-	-	庚申	【日月】庚申	本体 64.0 台座 74.0	本体 45.0 台座 600.0	本体 24.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【81】	20	⑥	遠野第二ダム 手前	1924	大正13/旧正月/7	庚申	庚申 大正十三年子年 旧正月七日 (正面下部) 菊池口(以下8名の名前あり)	本体 53.0 台座 74.0	本体 47.0 台座 600.0	本体 11.5 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【82】	20	⑦	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/9/-	庚申	庚申塔 天保十四癸口 卯 九月	本体 70.0 台座 74.0	本体 35.0 台座 600.0	本体 34.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【83】	20	⑧	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/7/29	庚申	【(梵字)】庚申 天保十四年 卯七月廿九日	本体 70.0 台座 74.0	本体 44.0 台座 600.0	本体 16.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 梵字は摩耗してい て解読できず
【84】	20	⑨	遠野第二ダム 手前	1914	大正3/12/15	庚申	庚申塔 大正三年十二月十五日 □下興(以下4名の名前あり)	本体 58.0 台座 74.0	本体 19.0 台座 600.0	本体 9.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【85】	20	⑩	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/-/-	馬畜	駒形大[社] (裏面) 明治四十一年	本体 56.0 台座 74.0	本体 26.0 台座 600.0	本体 14.5 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【86】	20	⑪	遠野第二ダム 手前	1845	弘化2/7/1	庚申	庚申 弘化二年 巳七月朔日	本体 64.0 台座 74.0	本体 54.0 台座 600.0	本体 17.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【87】	20	⑫	遠野第二ダム 手前	-	-	山岳	湯殿山	本体 48.0 台座 74.0	本体 21.0 台座 600.0	本体 14.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【88】	20	⑬	遠野第二ダム 手前	-	明治□□/11/4	庚申	庚申塔 明治□□□□ 十一月四日 講中	本体 48.5 台座 74.0	本体 26.5 台座 600.0	本体 9.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【89】	20	⑭	遠野第二ダム 手前	1928	昭和3/9/13	馬畜	駒形大[神] (裏面) 昭和三年九月十三日 森川春[治] [建]	本体 39.0 台座 74.0	本体 16.0 台座 600.0	本体 14.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【90】	20	⑮	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/9/1	馬畜	馬頭観世音 明治四十一年九月一日 菊池吉之助建	本体 42.0 台座 74.0	本体 21.0 台座 600.0	本体 10.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【91】	20	⑯	遠野第二ダム 手前	1903	明治36/10/10	庚申	【円相】庚申塔 明治三十六年 十月十日 講中	本体 37.5 台座 74.0	本体 21.0 台座 600.0	本体 8.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【92】	20	⑰	遠野第二ダム 手前	-	-	庚申	庚申塔	本体 33.0 台座 74.0	本体 18.0 台座 600.0	本体 6.5 台座 約196.0	①～⑱台座共通
【93】	20	⑱	遠野第二ダム 手前	1935	昭和10/3/28	馬畜	馬頭観世[音] 栗毛 昭和十年 三月廿八日 小井	本体 41.0 台座 74.0	本体 25.0 台座 600.0	本体 13.0 台座 約196.0	①～⑱台座共通 下部埋設
【94】	20	⑲	遠野第二ダム 手前	1830	文政13/2/10	社寺	金比羅 長右エ 源兵 [倉]木 (左側面) 文政十三年寅二月十日	63.0	23.5	9.0	幣束あり 下部埋設
【95】	20	⑳	遠野第二ダム 手前	1846	弘化3/12/-	神仏	山神 (右側面) 弘化三丙午十二月	98.0	33.0	20.0	紙垂あり
【96】	20	㉑	遠野第二ダム 手前	1858	安政5/9/2	馬畜	馬頭観世音 安政五年 九月二日	59.0	30.0	13.0	
【97】	21	①	(有)遠野衛生社 敷地内	1947	昭和22/9/28	神仏	土公神 (裏面) 昭和二十二年九月二十八日 年取十二月八日 打越若松之建	本体 36.0 台座 12.0	本体 22.0 台座 24.5	本体 12.5 台座 15.5	①②は祠(台座あり) の両脇にあり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【98】	21	②	(有)遠野衛生社敷地内	1947	昭和22/9/12	神仏	山神 (裏面) 昭和二十二年九月十二日 打越若松之立	本体 38.5 台座 12.0	本体 18.0 台座 24.5	本体 9.0 台座 15.5	①②は祠(台座あり)の両脇にあり
【99】	22	①	遠野市斎場	-	-	畜霊供養	永遠の丘 ペット供養塔 (左側面) 遠野市斎場管理事業協同組合	本体 180.0 台座 6.0	本体 177.0 台座 177.0	本体 118.0 台座 300.0	御花あり 御線香置きあり 裏面に扉あり
【100】	23	①	宇迦神社(入口)	1961	昭和36/旧3/12	標石	旧蹟一里塚 一里塚の蓋は「吾妻境」に(以下本文略) 昭和三十六年旧三月十二日 (裏面) 七七十里 花巻郡山大槌釜石十八里高田岩谷堂 (以下本文略)	本体 133.0 台座 43.0	本体 56.5 台座 100.0	本体 10.0 台座 87.0	囲みあり
【101】	23	②	宇迦神社(境内)	1997	平成9/1/吉日	標石	遠野郷最大の一都市火事 明治二十四年五月、石倉町酒造場から、(以下本文略) 平成九丁丑年一月吉日	本体 57.0 台座 12.5	本体 32.0 台座 39.5	本体 20.0 台座 31.0	文字着色(黒)あり
【102】	23	③	宇迦神社(境内)	2011	平成23/11/吉日	記念・標石	宝地藏 平成二十三年三月十一日の東日本大震災によって倒壊した、鳥居を修復し、今後の皆様の安全祈願として、ここに地藏を献納し、地藏を「宝地藏」と命名いたします。 平成二十三年十一月吉日 山田石材店	本体 71.0 台座① 31.0	本体 37.0 台座① 51.0	本体 20.0 台座① 37.0	隣に宝地藏本体、鳥居のマークの石あり。これらは1つの台座の上に乗っている(台座:7.0×156.0×115.0)
【103】	23	④	宇迦神社(境内)	-	安政-/-/吉日	神仏	山神 安政 月吉日 (欠けていて一部読めず) (裏面) (碑文解説出来ず)	本体 150.0 台座 27.0	本体 63.0 台座 136.0	本体 23.0 台座 130.0	文字着色(黒)あり 紙垂あり
【104】	23	⑤	宇迦神社(境内)	1929	昭和4/3/13	記念	石鳥居奉納者 昭和四年三月十三日 村上練治(以下39名の名前あり) 石工大坂	本体 79.0 台座 20.0	本体 36.5 台座 58.0	本体 20.0 台座 60.0	
【105】	24	①	蔵の道ひろば	1988	昭和63/11/22	記念	非核平和宣言 遠野市 1985.6.25 (台座正面) 一非核平和都市宣言— 世界の恒久平和は、人類共通(以下本文略) 2006.6.16 遠野市 (贈 1988.11.22 原水禁遠野宮守地区実行委員会)	本体 62.0 台座 50.0	本体 62.0 台座 148.0	本体 62.0 台座 81.0	
【106】	24	②	蔵の道ひろば	-	-	標石	蔵の道ひろば	102.0	32.0	32.0	囲みあり 遠野市の“と”のマークあり
【107】	25	①	八坂神社	-	-	不明	(碑文解説出来ず)	本体 30.0 台座 40.0	本体 37.0 台座 36.0	本体 32.0 台座 36.0	御神体か 手前に台あり
【108】	26	①	大工町通り沿い	1986	昭和61/4/26	標石	高善旅館跡 (左側面) 柳田国男先生御投宿 (裏面) 昭和六十一年四月二十六日 遠野市	本体 148.0 台座 22.0	本体 30.5 台座 50.0	本体 30.5 台座 50.0	文字着色(黒)あり
【109】	26	②	大工町通り沿い	-	-	標石	裏町	48.0	21.0	19.0	
【110】	26	③	大工町通り沿い	1991	平成3/7/-	記念	手作り郷土賞 建設大臣 大塚 司書 素材部門 岩手県 遠野市 平成三年七月 寄贈(社)東北建設協会 昭和六十三年四月 第三回美しい都市づくり経済同友会大賞 平成元年六月 建設大臣魅力あるまちづくり功労表彰	102.0	60.0	50.0	囲みあり 文字の一部着色(黒)あり
【111】	26	④	大工町通り沿い	-	-	標石	中同心 (右側面) 長柄組 (左側面) 持筒同心 (裏面) 裏町	73.0	20.0	20.0	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【112】	27	①	とおの物語の館	2011	平成23/6/-	記念	6.14 遠野物語の日 (裏面) 6.14 「遠野物語の日」宣言 『遠野物語』は、柳田國男と遠野(以下本文略) 平成二十三年六月 (「遠野物語の日」宣言の英訳あり) 遠野物語百周年 この碑の宣言文は(以下本文略)	本体 180.0 台座 9.0	本体 45.0 台座 90.0	本体 28.0 台座 90.0	日付着色(水色)あり 文字の一部着色 (白)あり
【113】	27	②	とおの物語の館	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	37.0	35.0	24.0	御神体か 狛犬と御神体らしき 石は、共通の屋根 の下にあり
【114】	27	③	とおの物語の館	-	-	追分	左ハ はやち祢 右ハ た加の春	本体 44.0 台座 17.0	本体 23.5 台座 72.0	本体 8.5 台座 36.0	左は はやちね 右は たかのす 追分の碑
【115】	28	①	ショッピング センターとびあ前	1930	昭和5/12/-	記念	勇町開町記念碑 (左側面) 故佐々木勇吉翁傳 佐々木勇吉翁は嘉永三年三月(以下本文略) (右側面) なる其の公益事業に貢献なる(以下本文略) 昭和五年十二月 金田一國士撰	本体 230.0 台座① 22.0 台座② 測定不能	本体 55.0 台座① 80.0 台座② 測定不能	本体 37.0 台座① 80.0 台座② 測定不能	形:三角柱
【116】	29	①	遠野駅前	1970	昭和45/-/-	記念	遠野物語 此話はすべて遠野の人佐々木(以下本文略) 柳田國男 (左側面) 碑文 日本民俗学会々長 大藤時彦書 建碑の由来 日本民俗学会々員 山下久男書 (裏面) 建碑の由来(以下本文略) 昭和四十五年	本体 82.0 台座① 28.0 台座② 20.0	本体 233.0 台座 72.0 台座 約70.0	本体 105.0 台座① 109.0 台座② 107.0	
【117】	30	①	遠野市民センター	1971	昭和46/12/1	記念	遠野市民センター 遠野市民憲章 わたくしたちは 清らかな山河(以下本文略) (裏面) 昭和四十六年十二月一日 竣工	本体 160.0 台座 16.0	本体 228.0 台座 220.0	本体 67.0 台座 約137.0	
【118】	30	②	遠野市民センター	1994	平成6/6/-	詩歌	雪晴も 雪に暗むも 遠野かな 汀子 本名 稲畑汀子(以下経歴略) (裏面) 平成三年NHK冬季BS遠野(以下本文略) 平成六年六月遠野市建之	本体 78.0 台座 27.0	本体 117.5 台座 126.0	本体 32.5 台座 約100.0	
【119】	31	①	多賀神社 (入口)	[1925]	[大正14/-/-]	記念	銀婚式奉祝記念石鳥居 奉納 遠野消防正義會 前組頭 加茂久四郎(以下190名の名前あり)	210.0	90.0	29.0	一部埋没 斜面のため裏面不明 大正天皇銀婚式: 大正14年5月10日
【120】	31	②	多賀神社 (入口)	-	-	標石	多賀神社 舊蹟多[可]の里 千葉重胤謹書	本体 170.0 台座 77.0	本体 100.0 台座 123.0	本体 27.0 台座 測定不能	
【121】	31	③	多賀神社 (入口)	-	-	神仏	山神	140.0	69.0	23.0	斜面のため裏面不明
【122】	31	④	多賀神社 (入口)	-	-	社寺	金華山 二川口謹書	本体 138.0 台座 95.0	本体 80.0 台座 180.0	本体 約43.0 台座 105.0	
【123】	31	⑤	多賀神社 (入口)	1919	大正8/3/18	社寺	古峯山 二川謹書 (裏面) 大正八年三月十八日 松田松太郎(以下15名の名前あり)	本体 108.0 台座 66.0	本体 69.0 台座 140.0	本体 36.0 台座 測定不能	
【124】	32	①	遠野市立 遠野小学校	1981	昭和56/10/19	記念	岩手県立 遠野高等女学校跡 遠高創立80周年を記念して 昭和56年10月19日遠高同窓会建立 俊島記【印】	本体 71.0 台座 38.0	本体 101.0 台座 134.0	本体 33.0 台座 83.0	
【125】	33	①	合同庁舎 職員駐車場裏山	-	-	不明	(碑文解読出来ず)	本体 45.0 台座 19.0	本体 約25.0 台座 34.0	本体 測定不能 台座 測定不能	①②は共通の社祠 の中 御神体か 幣束あり 古峯神の木札あり
【126】	33	②	合同庁舎 職員駐車場裏山	-	-	社寺	古峯神社 良一	本体 35.0 台座 15.0	本体 21.0 台座 35.0	本体 約7.0 台座 35.0	①②は共通の社祠 の中 木札あり
【127】	34	①	六日町住宅街 水路脇	-	-	馬畜	駒形大神	本体 54.0 台座 15.0	本体 29.0 台座 50.0	本体 20.0 台座 57.0	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【128】	35	①	伊勢両宮神社 (入口)	1930	昭和5/3/14	標石	伊勢両宮神社 (裏面) 昭和五年三月十四日参拝 (台座②正面) 奉納 参宮記念 及川福三(以下9名の名前あり)	本体 251.5 台座① 6.0 台座② 120.0	本体 42.0 台座① 71.0 台座② 172.0	本体 33.5 台座① 68.5 台座② 153.0	
【129】	35	②	伊勢両宮神社 (境内)	1917	大正6/3/30	不明	(碑文不明) (裏面) 大正六年三月三十日 松崎順吉 菊池利蔵 伊勢永蔵	121.0	22.5	20.0	倒れていて正面不明
【130】	35	③	伊勢両宮神社 (境内)	1931	昭和6/旧2/12	神仏	奉齋〔右〕乃水神塔 昭和六年旧二月十二日	46.0	24.0	14.0	③～⑤は台座共通
【131】	35	④	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)	65.0	22.0	3.0	③～⑤は台座共通 倒れている
【132】	35	⑤	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	標石	神明流跡 昭.五.二.八. 佐々木三郎 建之	40.0	50.0	29.5	③～⑤は台座共通 神明泉の湧水の跡
【133】	35	⑥	伊勢両宮神社 (境内)	1890	明治23/10/12	神仏	山神 (裏面) 明治廿三年 十月十二日 菊池まち (台座①裏面) 昭和二十五年四月十一日	本体 65.0 台座① 10.0 台座② 34.0	本体 33.0 台座① 54.0 台座② 98.0	本体 18.5 台座① 44.0 台座② 65.0	明治の他に昭和の 年号もあり
【134】	35	⑦	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	詩歌	幸福ハ、生涯健康デ、仲良ク、 仍ケテ、神仏ヲ、拜ムコト、也 (台座左側面) 奉納 参宮記念	本体 29.0 台座 107.0	本体 64.5 台座 21.5	本体 16.0 台座 23.0	
【135】	35	⑧	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	畜霊 供養	蜜蜂 兎鶏 供養塔 (裏面) 昭.五.二.八 佐々木三郎 刻建	本体 55.0 台座① 26.5 台座② 20.0	本体 62.0 台座① 59.0 台座② 74.0	本体 27.5 台座① 34.5 台座② 70.0	
【136】	36	①	下同心枱形	1846	弘化3/9/25	念仏	南無妙法蓮華經 賜紫身延 日仲 六十四代【花押】 (右側面) 每自作是念、以何令衆生(以下本文略) (左側面) 一天四海皆婦妙法後五百歳(以下本文略) 弘化三丙午年九月二十五日 (裏面) 願主 工藤重之進廣友 石工 佐四郎口宣七十四	本体 約208.0 台座① 27.0 台座② 22.0 台座③ 26.0	本体 98.0 台座① 89.0 台座② 119.0 台座③ 289.0	本体 98.0 台座① 86.0 台座② 119.0 台座③ 289.0	御線香皿あり
【137】	37	①	卯子酉神社	1863	文久3/4/8	神仏	卯子酉大明神 文久三癸亥四月八日 村兵〔式〕敬書	140.0	88.0	53.0	文字着色(朱)あり
【138】	37	②	卯子酉神社	—	—	神仏	水神	48.0	36.0	14.0	
【139】	37	③	卯子酉神社	1924	大正13/12/27	神仏	金神目 大正十三年 十二月二十七日	53.0	14.5	5.0	石にたてかけてある ため、裏面不明
【140】	38	①	卯子酉神社脇	1977	昭和52/8/-	標石	五百羅漢 登口 (裏面) 昭.五.二.八. 刻建. 佐[川]木 三郎	本体 55.0 台座① 18.0 台座② 62.0	本体 41.0 台座① 49.5 台座② 99.0	本体 27.0 台座① 34.0 台座② 163.0	
【141】	39	①	遠野 簡易裁判所前	1997	平成9/10/26	記念	顕彰碑 東北民謡の父 武田忠一郎先生(以下本文略) (裏面) 碑建立の由来(以下本文略) 平成九年十月二十六日 武田忠一郎氏を顕彰する推進委員会	本体 129.0 台座 73.0	本体 180.0 台座 250.0	本体 57.0 台座 約180.0	文字着色(黒)あり 囲みあり
【142】	39	②	遠野 簡易裁判所前	1989	平成1/8/吉日	記念	遠野教育発祥の地 (裏面) 遠野教育小史(以下本文略) 平成元年8月吉日 昭和16年度国民学校 卒業生還暦祝賀會事業	本体 104.0 台座① 26.0 台座② 22.0	本体 250.0 台座① 60.5 台座② 61.5	本体 91.0 台座① 160.0 台座② 160.0	囲みあり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【143】	39	③	遠野 簡易裁判所前	1998	平成10/3/-	標石	信成堂跡(江刺県庁舎) (右側面) 信成堂とは「信以成之」の意で(以下本文略) (左側面) 嘉永五年(一八五二)(以下本文略) (裏面) 漢字。詩歌。書画を好む者が(以下本文略) 平成十年三月 岩手県青少年育成委員会 山田善作	本体 183.0 台座 15.0	本体 25.0 台座 46.0	本体 19.5 台座 約52.0	
【144】	40	①	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	詩歌	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか流れのあらむ尋ね来し遠野静かに水の音する 平成二十五年七月四日、(以下本文略) 平成三十年七月四日 皇后陛下御歌碑建立実行委員会 会長 角田幸四郎	本体 159.0 台座① 20.0 台座② 51.0	本体 135.0 台座① 546.0 台座② 380.5	本体 35.0 台座① 148.0 台座② 503.0	文字着色(白)あり
【145】	40	②	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	詩歌	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか 流れのあらむ 尋ね来し 遠野静かに水の音する	本体 163.0 台座① 20.0 台座② 51.0	本体 340.0 台座① 546.0 台座② 380.5	本体 73.5 台座① 148.0 台座② 503.0	
【146】	41	①	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念・詩歌	(正面右側) 出でよ りく統として出でよ(以下本文略) 市民センター構想完成記念 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 (正面左側) 喜びは渦汐なして(以下本文略)	123.0	152.0	約90.0	
【147】	41	②	市立博物館脇	1897	明治30/9/-	記念・追分	子産聴鄭國之政以其乘輿濟人(以下本文略) 文久三癸亥九月 湍瀬約徒識 右ハ□□□ 左は□□□ (下部に名前(11名)あるが、摩耗して読めず) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず) 明治三十年九月	本体 148.0 台座 測定不能	本体 100.0 台座 121.0	本体 20.0 台座 約50.0	ひび割れあり 追分の碑
【148】	41	③	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念	元衆議院議員 泉國三郎住居跡 氏は明治二十九年十二月(以下本文略) 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 書 綾織町 山田善六 建之	本体 107.0 台座 63.0	本体 112.0 台座 203.0	本体 約44.0 台座 約111.0	
【149】	42	①	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石	北身延波木井山智恩寺 (右側面) 南無勅賜立正大師日蓮大菩薩六百五十遠忌報恩謝徳 (左側面) 波木井殿霊場(以下本文略) (裏面) 大正十三年太才甲子十月十三(以下本文略)	本体 約497.0 台座 54.0	本体 73.0 台座 204.0	本体 58.0 台座 169.5	文字の一部着色 (青)あり
【150】	42	②	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石	南無妙法蓮華經 開基 日高【花押】 (右側面) 波木井殿霊場北身延智恩寺(以下本文略) (左側面) 銘 赫□々神州兵就東旅順日(以下本文略) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず)	本体 約497.0 台座 54.0	本体 73.0 台座 204.0	本体 58.0 台座 169.5	
【151】	42	③	智恩寺 (境内)	-	□□13/12/14	記念	故多田立郎七君記念塔 (裏面) □□十三年十二月十四日 朋友知己一同	本体 約385.0 台座① 34.0 台座② 98.0 台座③ 10.0	本体 39.0 台座① 67.0 台座② 111.0 台座③ 172.0	本体 39.0 台座① 66.5 台座② 111.0 台座③ 172.0	
【152】	42	④	智恩寺 (境内)	1925	大正14/9/3	記念	故醫學士杉本元亜君記念塔 (右側面) 遠野町有志一同建之 富山五世日妙代 (裏面) 君諱元亜姓杉本石川縣(以下本文略) 大正十四年九月三日 岩手縣立遠野中學校教諭中世古一徳撰并書	本体 約385.0 台座① 34.0 台座② 98.0 台座③ 10.0	本体 39.0 台座① 67.0 台座② 111.0 台座③ 172.0	本体 39.0 台座① 66.5 台座② 111.0 台座③ 172.0	文字の一部着色 (黒)あり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【153】	42	⑤	智恩寺 (境内)	-	-	記念	宗祖日蓮大聖人報恩謝徳 (右側面) 如日月光門能除諸幽冥 (左側面) 斯人行世間 能滅衆生闇 (裏面) 為宗祖日蓮大聖人第七百遠忌(以下本文略)	本体 約300.0 台座① 47.0 台座② 89.0 台座③ 14.0	本体 83.0 台座① 102.0 台座② 182.0 台座③ 200.0	本体 83.0 台座① 100.5 台座② 183.5 台座③ 200.5	囲みあり 献花台あり 御線香置きあり 周囲に柵あり 手前に布袋様の像 があり
【154】	42	⑥	智恩寺 (能王稲荷神社)	1982	昭和57/10/12	神仏	和脩吉龍王山神 昭和五十七年十月十二日	本体 60.0 台座① 20.0 台座② 19.0	本体 29.0 台座① 50.0 台座② 73.0	本体 20.0 台座① 28.5 台座② 77.0	台座②の上に御墓 あり
【155】	43	①	瑞応院	2013	平成25/3/-	記念	鳳徳山瑞應院 安寧地藏菩薩 (裏面) 瑞應院有縁無縁諸精霊菩提 東日本大震災物故者菩提 平成二十五年三月 十七世臥雲智龍 合掌	122.0	24.0	15.0	隣に地藏あり 文字着色(黒)あり
【156】	44	①	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石	柳玄寺	221.0	30.5	29.0	
【157】	44	②	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石	曹洞宗 (裏面) 施主 當山廿世惲禪代 萬屋五代政五郎 昭和十五年二月廿四日	221.0	30.5	29.0	
【158】	44	③	柳玄寺 (墓所)	1981	昭和56/11/28	標石	金鳴神之碑 柳田國男著 遠野物語拾遺九三話(初版本明治四十三年) 遠野一日市の乍平という家が(以下本文略) (左側面) 遠野市長工藤千蔵氏および(以下本文略) 昭和五十六年十一月二十八日 綾織町 石匠 山田善作	本体 175.0 台座 55.0	本体 73.0 台座 217.0	本体 26.5 台座 204.0	囲みあり
【159】	45	①	常福寺 (参道)	-	-	亡者 供養	三界萬壺	本体 106.0 台座 26.0	本体 52.0 台座 82.0	本体 48.0 台座 81.0	手前に台あり 御賽銭あり 御供えあり 御線香置きあり
【160】	45	②	常福寺 (境内)	-	-	念仏	【キリーク】千月回口南無阿弥陀佛	本体 301.0 台座 11.0	本体 157.0 台座 320.0	本体 65.0 台座 175.0	囲みあり 文字着色(朱)あり 献花台あり 御線香置きあり
【161】	45	③	常福寺 (境内)	1933	昭和8/-/-	記念	鐘楼堂 腰組みと言ふ組立方式で造られ(以下本文略) 建築された年 昭和八年(西曆一九三三年)	本体 73.0 台座① 46.0 台座② 4.0	本体 91.5 台座① 107.0 台座② 121.0	本体 30.0 台座① 47.0 台座② 62.0	隣に鐘楼堂あり
【162】	46	①	善明寺 (入口)	-	-	標石	錦洞文庫記念館 (右側面) 寺宝寺什名僧墨蹟日中古今名筆文房四宝美術 書冊収蔵 (左側面) 拝観予約制 冬休体館 (裏面) 車止	108.0	19.5	19.5	
【163】	46	②	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石	善明寺 (裏面) 大正十五年五月三日	本体 246.0 台座 11.0	本体 30.0 台座 62.0	本体 30.0 台座 62.0	着色(黒)あり
【164】	46	③	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石	金光山 (裏面) 施主 山尾判十郎	本体 246.0 台座 11.0	本体 30.0 台座 62.0	本体 30.0 台座 62.0	着色(黒)あり
【165】	46	④	善明寺 (入口)	1979	昭和54/8/孟蘭盆	亡者 供養	三界萬壺 (右側面) 昭和五十四年乙未八月孟蘭盆 口願主當山第五十三世信阿併拝吉	本体 157.0 台座 29.0	本体 80.0 台座 128.0	本体 48.0 台座 125.0	
【166】	46	⑤	善明寺 (境内)	-	-/4/8	念仏	【日月】【卍】南無阿弥陀佛 當寺□□五世 居 (文字あるが、摩耗して読めず) (左側面) 四月八日	本体 290.0 台座 34.0	本体 98.0 台座 約120.0	本体 60.0 台座 126.0	
【167】	46	⑥	善明寺 (境内)	-	-	詩歌	月を見るころ 限りのつかざりし 蘆川	本体 221.0 台座 27.0	本体 65.0 台座 127.0	本体 22.0 台座 110.0	俳人佐々木蘆川の 句

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【168】	46	⑦	善明寺(境内)	-	安政-/-/-	記念	東甫翁〔寺〕碑 遠野之為郷也東北帯海南(以下本文略) 安政丙辰仲冬 工藤廣友 撰 明治乙酉初秋 太田孝 書	本体 156.0 台座 48.0	本体 65.0 台座 158.0	本体 13.0 台座 98.0	囲みあり 安政の他に明治の 年号もあり
【169】	46	⑧	善明寺(境内)	1865	慶應1/3/21	神仏	【ウーン】 弘法大師 慶應元乙丑三月廿一日 願主 菅沼藤左エ門	本体 120.0 台座 20.0	本体 60.0 台座 131.0	本体 33.0 台座 88.0	手前に台あり 梵字囲みあり 弘法大師(空海)、 傘、蓮の花の絵あり
【170】	46	⑨	善明寺(境内)	1933	昭和8/5/28	亡者 供養	無縁塔 (左側面) 昭和八年五月二十八日 第五十世善誉代	本体 230.0 台座① 25.0 台座② 150.0	本体 105.0 台座① 137.0 台座② 262.0	本体 36.0 台座① 138.0 台座② 260.0	台座②部分に階段 あり
【171】	46	⑩	善明寺(境内)	1930	昭和5/4/28	記念・ 標石	いちろ 樹齡七百年 松崎ウソコ (裏面) 昭和五年四月廿八日 寄附者 久手 菊池馬吉	本体 69.0 台座 60.0	本体 35.0 台座 110.0	本体 12.0 台座 67.0	
【172】	46	⑪	善明寺(寺寶館)	1991	平成3/8/23	記念	寺寶館【印】 東京真林院瑞正寺設立 平成三年辛未八月二十三日上棟 善明寺五十四世最口代	100.0	186.0	120.0	
【173】	47	①	大工町 自治会館隣り	1963	昭和38/12/18	記念	乳牛感謝之碑 創立十周年記念 昭和三十八年十二月十八日建之 遠野地方酪農青年研究連盟 (裏面) 委員長 昆政義(以下34名の名前あり)	本体 109.0 台座① 20.0 台座② 12.0 台座③ 40.0	本体 57.0 台座① 76.5 台座② 120.0 台座③ 130.0	本体 14.0 台座① 42.0 台座② 74.0 台座③ 110.0	
【174】	48	①	鶴田稲荷	-	天保-/7/-	庚申	庚申 癸天保 卯七月	56.0	37.0	8.0	下部埋没
【175】	48	②	鶴田稲荷	1848	弘化5/3/10	社寺	金毘羅山 弘化五申□ 三月十日 講中 敬白	本体 76.0 台座 24.0	本体 34.0 台座 96.0	本体 24.0 台座 74.0	
【176】	49	①	遠野 浄化センター	1996	平成8/8/1	記念	遠野浄化センター 平成八年八月一日 遠野市長 菊池正	本体 82.0 台座 47.0	本体 190.0 台座 225.0	本体 60.0 台座 90.0	
【177】	50	①	大慈寺 (入口)	-	-	標石	殺生禁前川	本体 222.0 台座 3.0	本体 95.0 台座 87.0	本体 42.0 台座 66.0	
【178】	50	②	大慈寺 (入口)	-	-	標石	葷酒禁山門	本体 170.0 台座 14.0	本体 95.0 台座 110.0	本体 41.0 台座 124.0	
【179】	50	③	大慈寺 (境内)	1929	昭和4/6/-	記念	□□記念碑 □□□□□□□□□□ 石□□□書 (裏面) 大正十二年十月廿二日焼失(以下本文略) 昭和四年六月〔中〕三次法檀之日 建之 大矢明三(以下40名の名前あり)	本体 179.0 台座① 22.0 台座② 41.0	本体 83.0 台座① 152.0 台座② 250.0	本体 21.5 台座① 110.0 台座② 198.0	
【180】	50	④	大慈寺 (境内)	1906	明治39/5/-	記念	勇敢壯烈 陸軍騎兵軍曹新里傳八郎碑銘 陸軍大將從三位勳一等功三級(以下本文略) 明治三十九年五月 鎮西 吉田晩稼書 井龜泉 鐫	本体 177.0 台座① 30.0 台座② 40.0	本体 82.0 台座① 180.0 台座② 252.0	本体 24.0 台座① 120.0 台座② 190.0	囲みあり 勇敢壯烈は篆書体
【181】	50	⑤	大慈寺 (境内)	1937	昭和12/10/23	亡者 供養	物故軍人追悼碑 陸軍大將井上幾太郎書 (右側面) 昭和十二年十月二十三日建之 (裏面) 石工 河村慶一	本体 205.0 台座① 30.0 台座② 120.0	本体 123.0 台座① 177.0 台座② 314.0	本体 60.0 台座① 99.0 台座② 253.0	台座②部分に階段 あり
【182】	50	⑥	大慈寺 (境内)	1818	文政1/-/-	亡者 供養	【円相】三界万壺等 (右側面) 文政元戊寅 (下部に文字あるが、摩耗して一部読めず)	本体 176.0 台座 17.0	本体 52.0 台座 116.0	本体 22.0 台座 127.0	蓮の花の絵あり 文字着色(朱)あり 御賽銭あり 囲みあり
【183】	51	①	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石	白泉山萬福寺 (右側面) 大正十年七月十三日 當山十四世靈鷲代	本体 247.0 台座 17.0	本体 27.0 台座 69.0	本体 29.0 台座 70.0	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【184】	51	②	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石	真宗大谷派 (左側面) 施主 萬守三 小川賢吾	本体 247.0 台座 17.0	本体 27.0 台座 69.0	本体 29.0 台座 70.0	
【185】	51	③	萬福寺 (境内)	2001	平成13/7/28	記念・ 標石	宗祖 親鸞聖人像 (左側面) 白泉山萬福寺十七世 口信正代	本体 130.0 台座 38.0	本体 29.0 台座 94.0	本体 26.0 台座 63.0	隣に像あり
【186】	52	①	対泉院付近 来内川沿い	1964	昭和39/11/吉日	念仏	南無妙法蓮華經 (左側面) 昭和三十九年十一月吉日建之	本体 134.0 台座 31.0	本体 34.0 台座 110.0	本体 9.0 台座 98.0	
【187】	53	①	下組町バス停前	1977	昭和52/8/-	標石	程洞社. 登 金勢社. 口 (左側面) 昭. 五二. 八 下組工業[所](以下本文略) (右側面) (程洞社への地図あり)	本体 50.0 台座 65.0	本体 45.0 台座 66.0	本体 39.0 台座 60.0	
【188】	54	①	遠野町民家前 下組町との境	1917	大正6/12/18	神仏	水神 大正六年 十二月十八日	本体 47.0 台座 10.0	本体 30.0 台座 89.0	本体 10.0 台座 38.0	賽銭あり 周囲に柵あり 手前に鳥居あり
【189】	55	①	加茂神社	1931	昭和6/旧7/17	神仏	水神 (左側面) 昭和六年旧七月十七日 建之	本体 140.0 台座 64.0	本体 88.0 台座 154.0	本体 32.0 台座 122.0	手前に台あり 幣束あり 御賽銭あり 注連縄あり
【190】	55	②	加茂神社	1922	大正11/4/23	社寺	金華山 (右側面) 大正十一年四月廿三日 (裏面) 西風館口蔵(以下6名の名前あり)	本体 128.0 台座 49.0	本体 69.0 台座 128.0	本体 59.0 台座 78.0	手前に台あり 幣束あり 御賽銭あり 注連縄あり 文字着色(黒)あり
【191】	55	③	加茂神社	1832	天保3/5/10	庚申	【日月】庚申塔 講中 口壹人 (右側面) 天保三辰 (左側面) 五月十日	80.0	39.0	48.0	手前に台あり 幣束あり 木に立てかけてある ため、裏面不明
【192】	55	④	加茂神社	1940	昭和15/7/吉日	馬畜	馬頭観世音 (裏面) 昭和十五年七月吉日 松田豊吉 建之	本体 57.0 台座 13.0	本体 37.0 台座 62.0	本体 24.0 台座 43.0	
【193】	56	①	岩手県立 遠野高等学校	1971	昭和46/10/-	詩歌	校歌 一、城趾の西に聳ゆる麓(以下本文略) 遠高創立七十周年を記念して贈る 昭和四十六年十月 遠中第四十回卒業生 (台座正面) 浅沼浩(以下78名の名前あり)	本体 71.0 台座 44.0	本体 133.0 台座 104.0	本体 40.0 台座 52.0	囲みあり
【194】	56	②	岩手県立 遠野高等学校	2001	平成13/10/13	記念	校訓 修徳尚武 創立百周年記念として(以下本文略) 平成十三年十月十三日 (裏面) 明治三十四年(一九〇一)五月十九日 「岩手県遠野中学校」として(以下本文略)	133.0	264.0	70.0	囲みあり
【195】	57	①	東南部 農業共済組合	1986	昭和61/11/吉日	記念	済度互惠 遠野地方農業共済組合 組合長理事 菊池正 書 (裏面) 記 遠野地方農業共済組合(以下本文略) 竣工 昭和六十一年十一月吉日 組合長 菊池正(以下44名の名前あり)	本体 107.0 台座 78.0	本体 200.0 台座 210.0	本体 43.0 台座 160.0	文字着色(白)あり 農と書いたマークあり
【196】	58	①	遠野コロニー	1991	平成3/12/27	記念	御下賜金拝受記念 平成三年十二月二十七日 社会福祉法人睦会	本体 223.0 台座 35.0	本体 68.0 台座 137.0	本体 41.0 台座 81.0	
【197】	59	①	下屋稲荷神社	1931	昭和6/5/9	標石	正一位下屋稲荷神社標 (左側面) 昭和六年五月九日 高橋善太郎建之	本体 179.0 台座 9.0	本体 30.0 台座 58.0	本体 26.0 台座 61.5	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【198】	59	②	下屋稲荷神社	1923	大正12/11/8	馬畜	駒形大神 (右側面) 大正十二年十一月八日 建之 高橋善太郎	本体 113.0 台座 35.0	本体 39.0 台座 104.0	本体 25.0 台座 65.0	手前に台あり
【199】	59	③	下屋稲荷神社	-	-	神仏	三寶大荒神 姫金神	44.0	23.0	13.0	
【200】	60	①	鍋倉山 トイレ脇	1924	大正13/5/3	記念	東宮殿下 御成婚記念 石鳥居奉納者 金五十円 平澤文治(以下57名の名前あり) (裏面) 大正十三年五月三日建設 協賛員 部長 佐藤二郎(以下15名の名前あり)	本体 166.0 台座 22.0	本体 99.0 台座 測定不能	本体 18.0 台座 測定不能	文字着色(朱)あり
【201】	61	①	鍋倉山 斜面	1970	昭和45/11/15	詩歌	迷路の多し 古城址に六角牛 ほとゝぎす (裏面) 昭和四十五年十一月十五日 遠野俳句会 これを建てる	本体 120.0 台座 3.0	本体 64.0 台座 75.0	本体 22.0 台座 63.0	
【202】	62	①	鍋倉公園 展望台付近	1995	平成7/8/10	記念	愛國心とは蓋し愛郷心の延長のみ而て真の郷土 の愛は甘棠の愛より来る 伊能嘉矩(以下本文 略) (裏面) 大自然に息吹く田園都市建設(以下本文略) 平成七年八月十日 遠野市戦後五十年 平和祈念事業実行委員会 遠野市 助役 中居健雄(以下28名の名前あり)	本体 201.0 台座 46.0	本体 101.0 台座 180.0	本体 25.5 台座 80.0	
【203】	62	②	鍋倉公園 展望台付近	1962	昭和37/7/15	記念	彰徳碑 皇國興廢 在此一戦 各員一層 奮励努力 東郷平八郎 伊藤清五郎翁略歴(以下本文略) 昭和三十七年七月十五日 (裏面) 本碑の建立に際しては遠野市(以下本文略) 顕彰會長 村上順弥(以下10名の名前あり)	本体 188.0 台座 26.0	本体 91.0 台座 200.0	本体 27.0 台座 165.0	囲みあり 海軍のマークあり
【204】	63	①	鍋倉城二ノ丸	-	-	標石	洗心のところ	本体 75.0 台座 29.0	本体 51.0 台座 71.0	本体 22.0 台座 40.0	
【205】	63	②	鍋倉城二ノ丸	1977	昭和52/11/-	記念	鴻猷在茲 遠野南部家廟改修碑 遠野南部氏 そのさき甲斐國(以下本文略) 昭和五十二年十一月三十七世南部光徹謹白 (裏面) 建碑協力者芳名 工藤千蔵(以下7名の名前あり)	本体 約340.0 台座 81.0	本体 150.0 台座 260.0	本体 33.0 台座 158.0	囲みあり
【206】	63	③	鍋倉城二ノ丸	1980	昭和55/-/-	不明	我不愛身命 但惜無上道 (裏面) 昭和五十五年春彼岸(以下本文略)	本体 171.0 台座 84.0	本体 108.0 台座 217.0	本体 33.5 台座 119.0	
【207】	63	④	鍋倉城二ノ丸	1974	昭和49/-/-	詩歌	花は根にかへり 真味は土に とどまる (裏面) 昭和四十九年 日家建立	本体 95.0 台座 30.0	本体 66.0 台座 101.0	本体 22.0 台座 44.0	囲みあり
【208】	63	⑤	鍋倉城二ノ丸	1876	明治9/-/-	記念	勤王五世 四代師行命 五代政長命 六代信政命 七代信 光命 八代政光命 (裏面) [麦]□五命勤王□南朝□□□(以下本文略) 明治九丙子年 南部専次 謹誌	本体 123.0 台座 100.0	本体 83.0 台座 214.0	本体 33.0 台座 154.0	文字着色(白)あり 囲みあり
【209】	63	⑥	鍋倉城二ノ丸	2019	令和1/6/吉日	記念	法華堂建立勸進文 教主釋迦牟尼正徧知 涅槃の雲に入りまして 正 法千は西の天 餘光に風も香はしく 像法千は華 油燈の 影堂塔に照り映えき(以下本文略) (裏面) 令和元年六月吉日 奉納 南部恵美子 南部壽々子	本体 154.0 台座① 36.0 台座② 28.0	本体 136.5 台座① 99.0 台座② 157.5	本体 28.0 台座① 73.0 台座② 83.0	宮澤賢治勸進文 手前に台あり
【210】	64	①	南部神社 (入口)	1957	昭和32/5/7	標石	遠野公園 南部神社 (右側面) 謹書 高橋好見 (左側面) 石工 小原藤市 (裏面) 昭和三十二年五月七日建之 筆頭総代 奥寺口太郎代	本体 172.5 台座 7.0	本体 34.5 台座 61.0	本体 24.5 台座 56.5	文字着色(黒)あり

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【211】	64	②	南部神社 (入口)	1990	平成2/11/吉日	標石	南部神社 (裏面) 平成二十年十一月吉日 遠野南部第三十七代光徹謹書	本体 250.0 台座① 38.5 台座② 74.0	本体 49.0 台座① 93.5 台座② 242.0	本体 37.0 台座① 71.5 台座② 224.0	着色(黒)あり
【212】	64	③	南部神社 (参道)	1915	大正4/4/□	社寺	金華(山) (裏面) 大正四年四月□日 小向長世吉(以下35名の名前あり)	170.0	138.0	30.0	下部埋没
【213】	64	④	南部神社 (参道)	1848	嘉永1/9/-	記念	翠峰先生土碑 予興君交二十五年而其相會(以下本文略) 嘉永紀元九月 加賀 勝村師軻撰謹集歐□二公字磐井小山實敏 閉伊受業門人拜建	147.0	64.0	31.0	囲みあり
【214】	64	⑤	南部神社 (参道)	1879	明治12/10/-	記念	浅井信威墓 浅井生墓銘 書籍館館長 岡千仞撰文 浅井生名信威字畏郷陸中(以下本文略) 明治十二年卯十月建石	105.0	75.0	25.0	囲みあり
【215】	64	⑥	南部神社 (参道)	-	-	詩歌	雨をりをり 思ふことなき 早苗哉	本体 190.0 台座 20.0	本体 73.0 台座 110.0	本体 44.0 台座 86.0	松尾芭蕉俳句 白幡神社より移設
【216】	64	⑦	南部神社 (参道)	1905	明治38/6/-	記念	楓亭奥寺先生碑銘 米國哲學博士衆議院議員早稲田大學教授正六位大石熊吉篆 君謙康明字廡夫稱勇太奥寺氏(以下本文略) 明治三十八年六月 陸中處士山口剛介書	本体 188.0 台座 43.0	本体 103.0 台座 228.0	本体 20.0 台座 126.0	囲みあり
【217】	64	⑧	南部神社 (参道)	1982	昭和57/9/-	記念	余は今回の南遊査祭の途に上らんとするに當り自ら三條の方則に立てたり 第一、疾病其の他如何なる事故(以下本文略) (裏面) 建碑ノ由来 伊能嘉矩先生ハ明治元年遠野(以下本文略) 昭和五十七年九月	本体 120.0 台座 14.0	本体 190.0 台座 230.0	本体 68.0 台座 128.0	
【218】	64	⑨	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念	東北一遠野南部七福神寄付者御芳名 一、金十万円也 岩手アパレル(以下117名の名前あり)	本体 79.0 台座① 57.0 台座② 31.0	本体 219.0 台座① 32.0 台座② 192.0	本体 8.5 台座① 31.0 台座② 44.0	
【219】	64	⑩	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念	東北一 遠野南部 七福神 此の七福神は八戸市出身の(以下本文略) 平成二十一年五月三日建立 南部神社宮司 金田一京一代	本体 91.0 台座 14.0	本体 74.0 台座 96.0	本体 20.0 台座 40.0	
【220】	64	⑪	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念	東北一 遠野南部七福神 鍋倉山鎮座 社号標 平成二十一年五月三日 建立 奉納者 東穀町一〜二九 山蔭 満吉 みつよ 綾織町 山田善作 南部神社宮司 金田一京一代	本体 191.0 台座 31.0	本体 40.0 台座 74.5	本体 21.0 台座 71.0	上部に南部家家紋の向鶴あり
【221】	64	⑫	南部神社 (境内)	1920	大正9/9/17	標石	鍋倉神社 (右側面) 大正九年九月十七日 (左側面) 波木井實長 第三十五代 從四位男 南部義信 謹書 (本体②) 奉納者 石直喜十郎(以下26名の名前あり)	本体① 310.0 本体② 42.0 台座 18.0	本体① 48.0 本体② 92.0 台座 176.0	本体① 37.0 本体② 8.0 台座 170.0	
【222】	64	⑬	南部神社 (境内)	2004	平成16/4/-	標石	社号標について 本社の祭神は約700年間(以下本文略) 大鶴堰について 遠野南部家は代々月山(以下本文略) 平成16年4月 奉納者 山田善作	本体 197.0 台座 26.0	本体 52.0 台座 77.0	本体 19.0 台座 75.0	文字着色(白)あり
【223】	64	⑭	南部神社 (境内)	-	-	不明	(碑文解説出来ず)	221.0	174.0	30.0	大鶴堰の大石橋の一部か
【224】	64	⑮	南部神社 (境内)	1995	平成7/4/吉日	詩歌	遠野火 眠る山めぐらし民話の里と呼ぶ(以下16名の俳句あり) 平成七年四月吉日 遠野俳句会建之 会長菊池悠人 高橋荷葉書【印】石工 山田善作	本体 43.0 台座 40.0	本体 243.0 台座 43.0	本体 48.0 台座 143.0	

通番	地点番号	地点石碑番号	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文	寸法(単位:cm)			備考
								高さ	幅	奥行	
【225】	64	㊾	南部神社 (境内)	1991	平成3/5/3	記念・ 標石	この清水は歴代遠野南部藩主(お殿様)が愛用された水です。 奉納平成三年五月三日 遠野市綾織町 山田善作	67.0	51.0	12.0	文字着色(白)あり 手水鉢の横にあり
【226】	64	㊿	南部神社 (一乗稲荷大明神)	1996	平成8/12/吉日	標石	一乗稲荷大明神 (左側面) 平成八年十二月吉日 宮司 金田一京一 山田善作	本体 176.0 台座 25.0	本体 32.0 台座 58.0	本体 25.0 台座 48.0	文字着色(黒)あり

(2) 造立年代別分類

最古：【73】延享1年(1744)「【円相】念佛供養 右ハかまい志道 左はをふつち道」碑
(遠野葬祭会館隣)

次点：【182】文政1年(1818)「【円相】三界万霊等」碑
(大慈寺境内)

紀年銘が刻まれ判別できる石碑のうち、遠野町内最古の石碑は、延享1年に建てられた「【円相】念佛供養 右ハかまい□□ 左はをふつち道」碑である。この石碑は遠野葬祭会館隣の地蔵脇に建てられており、正面に念佛供養、側面に追分が刻まれた石碑である。

次点は大慈寺の境内に建立されている三界萬霊等である。この石碑は墓地内にあり、5段ほど石段を登った台座の上に複数の墓石と一緒に建っている。円相、囲みがあり、異体字で彫られている。等は塔と同じ発音ではあるが同義語ではなく、万霊およびこれに類するものすべてを含むという意味といわれている。

遠野町の石碑は他の地区と比べると、昭和の時代に建てられたものが最も多く、それ以前のものが少ない。時代別にみると、江戸期に建てられたものは24基、明治の石碑は17基、大正の石碑は26基、昭和の石碑は72基、平成の石碑は29基、令和に入ってから石碑は1基、年代不明の石碑は57基であった。平成以降の碑も多いことから、現代においても石に刻んで残すという文化は残っているということがわかる。

表2 年代順石碑一覧

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
1	【73】	遠野葬祭会館隣	1744	延享1/7/吉祥日	念仏・追分	【円相】念佛供養 (右側面) 右ハかまい志道 (左側面) 左はをふつち道 (裏面) 延享甲子天 七月吉祥日
2	【182】	大慈寺 (境内)	1818	文政1/-/-	亡者供養	【円相】三界万霊等 (右側面) 文政元戊寅 (下部に文字あるが、摩耗して一部読めず)
3	【66】	上組町 駒形神社	1821	文政4/9/29	馬畜	馬頭観世音 文政四辛巳年 勘太 九月廿九日 平治
4	【58】	三丸屋向かい	1829	文政12/9/19	不明	【ア】月峯[道][建] 文政十二巳 九月十九
5	【94】	遠野第二ダム 手前	1830	文政13/2/10	社寺	金比羅 長右エ 源兵 [倉]木 (左側面) 文政十三年寅二月十日
6	【191】	加茂神社	1832	天保3/5/10	庚申	【日月】庚申塔 講中 □壹人 (右側面) 天保三辰 (左側面) 五月十日
7	【83】	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/7/29	庚申	【(梵字)】庚申 天保十四年 卯七月廿九日
8	【82】	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/9/-	庚申	庚申塔 天保十四癸卯 卯 九月
9	【174】	鶴田稲荷	—	天保-7/-	庚申	庚申 癸天保 卯七月
10	【86】	遠野第二ダム 手前	1845	弘化2/7/1	庚申	庚申 弘化二年 巳七月朔日
11	【136】	下同心枅形	1846	弘化3/9/25	念仏	南無妙法蓮華經 賜紫身延 日仲 六十四代【花押】 (右側面) 每自作是念 以何令衆生(以下本文略) (左側面) 一天四海皆帰妙法後五百歳(以下本文略) 弘化三丙午年九月二十五日 (裏面) 願主 工藤重之進廣友 石工 佐四郎口宣七十四
12	【39】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1846	弘化3/初冬	庚申	庚申塔 弘化三初冬講中 (右側面) 明治十七甲申再建 (裏面) 日下和一(以下9名の名前あり)
13	【95】	遠野第二ダム 手前	1846	弘化3/12/-	神仏	山神 (右側面) 弘化三丙午十二月

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
14	【175】	鶴田稲荷	1848	弘化5/3/10	社寺	金毘羅山 弘化五申□ 三月十日 講中 敬白
15	【213】	南部神社 (参道)	1848	嘉永1/9/-	記念	翠峰先生土碑 予興君交二十五年而其相會(以下本文略) 嘉永紀元九月 加賀 勝村師軻撰謹集歐□二公字磐井小山實敏 閉伊受業門人拝建
16	【26】	欠ノ上稲荷神社 (遙拝所脇)	1849	嘉永2/旧6/15	畜霊供養	龜塚 (裏面) 嘉永二酉年 旧六月十五日
17	【38】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1854	嘉永7/10/26	庚申	庚申塔 嘉永七寅年講中 十月廿六日
18	【11】	九重沢不動堂	—	[嘉][永]□/□/8	神仏	不動尊 [嘉][永]□ □月八日
19	【71】	上組町 駒形神社	1858	安政5/8/23	馬畜	馬頭觀世音 安政五午年 八月廿三日 (裏面) 願主 菊池屋与兵衛
20	【96】	遠野第二ダム 手前	1858	安政5/9/2	馬畜	馬頭觀世音 安政五午年 九月二日
21	【103】	宇迦神社 (境内)	—	安政-/-/吉日	神仏	山神 安政 月吉日 (欠けていて一部読めず) (裏面) (碑文解読出来ず)
22	【168】	善明寺 (境内)	—	安政-/-/-	記念	東甫翁[寺]碑 遠野之為郷也東北帯海南(以下本文略) 安政丙辰仲冬 工藤廣友 撰 明治乙酉初秋 太田孝 書
23	【137】	卯子酉神社	1863	文久3/4/8	神仏	卯子酉大明神 文久三癸亥四月八日 村兵[式]敬書
24	【169】	善明寺 (境内)	1865	慶應1/3/21	神仏	【ウーン】 弘法大師 慶應元乙丑三月廿一日 願主 菅沼藤左エ門
25	【208】	鍋倉城二ノ丸	1876	明治9/-/-	記念	勤王五世 四代師行命 五代政長命 六代信政命 七代信光命 八代政光命 (裏面) [麦]□五命勤王□南朝□□□(以下本文略) 明治九丙子年 南部専次 謹誌
26	【55】	三丸屋向かい	—	明治□/旧3/12	神仏	山神 (左側面) 明治□年旧三月十二日 講中 (上段に名前(5名)、下段に名前(沢村仁人他7名)あるが、摩耗して読めず)
27	【214】	南部神社 (参道)	1879	明治12/10/-	記念	浅井信威墓 浅井生墓銘 書籍館館長 岡千仞撰文 浅井生名信威字畏郷陸中(以下本文略) 明治十二年卯十月建石

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
28	【79】	遠野第二ダム 手前	1889	明治22/12/18	庚申	庚申塔 明治廿二年 十二月十八日
29	【133】	伊勢両宮神社 (境内)	1890	明治23/10/12	神仏	山神 (裏面) 明治廿三年 十月十二日 菊池まち (台座①裏面) 昭和二十五年四月十一日
30	【70】	上組町 駒形神社	1891	明治24/5/7	馬畜	馬頭観世音 明治廿四年五月七日 長谷口条助建
31	【76】	遠野第二ダム 手前	1893	明治26/2/12	神仏	山神 (右側面) 明治廿六年二月十二日
32	【147】	市立博物館脇	1897	明治30/9/-	記念・ 追分	子産聴鄭國之政以其乘輿濟人(以下本文略) 文久三癸亥九月 湍瀬釣徒識 右ハ□□□ 左は□□□ (下部に名前(11名)あるが、摩耗して読めず) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず) 明治三十年九月
33	【29】	欠ノ上稲荷神社 (遙拝所脇)	1899	明治32/6/15	神仏	奉齋水速女之大神 明治三十二年六月十五日 願主 立花巳之助
34	【45】	日枝神社 (境内)	1901	明治34/6/1	神仏	日枝大神 (左側面) 明治三十四年六月一日 鶴田作平治(以下4名の名前あり)
35	【91】	遠野第二ダム 手前	1903	明治36/10/10	庚申	【円相】庚申塔 明治三十六年 十月十日 講中
36	【216】	南部神社 (参道)	1905	明治38/6/-	記念	楓亭奥寺先生碑銘 米國哲學博士衆議院議員早稻田大學教授正六位大石熊吉蒙 君諱康明字廡夫稱勇太與寺氏(以下本文略) 明治三十八年六月 陸中處士山口剛介書
37	【180】	大慈寺 (境内)	1906	明治39/5/-	記念	勇敢壯烈 陸軍騎兵軍曹新里傳八郎碑銘 陸軍大將從三位勳一等功三級(以下本文略) 明治三十九年五月 鎮西 吉田晚稼書 井龜泉鐫
38	【24】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	-	明治3□/12/-	神仏	山神 (右側面) 遠野町 堀切重之助(以下4名の名前あり) (左側面) 明治卅 十二月
39	【90】	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/9/1	馬畜	馬頭観世音 明治四十一□九月一日 菊池吉之助建
40	【85】	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/-/-	馬畜	駒形大[社] (裏面) 明治四十一年
41	【88】	遠野第二ダム 手前	-	明治□□/11/4	庚申	庚申塔 明治□□□□ 十一月四日 講中
42	【84】	遠野第二ダム 手前	1914	大正3/12/15	庚申	庚申塔 大正三年十二月十五日 □下與(以下4名の名前あり)

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
43	【212】	南部神社 (参道)	1915	大正4/4/□	社寺	金華〔山〕 (裏面) 大正四年四月□日 小向長世吉(以下35名の名前あり)
44	【129】	伊勢両宮神社 (境内)	1917	大正6/3/30	不明	(碑文不明) (裏面) 大正六年三月三十日 松崎順吉 菊池利蔵 伊勢永蔵
45	【28】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1917	大正6/11/吉日	畜霊供養	蛇王権現 (右側面) 大正六年十一月吉日 立花巳之助 (左側に2行文字、下に名前(3名)あるが、摩耗して読めず)
46	【188】	遠野町民家前 下組町との境	1917	大正6/12/18	神仏	水神 大正六年 十二月十八日
47	【57】	三丸屋向かい	1918	大正7/-/-	馬畜	馬頭観口 大正七年 村上小市
48	【123】	多賀神社 (入口)	1919	大正8/3/18	社寺	古峯山 二川謹書 (裏面) 大正八年三月十八日 松田松太郎(以下15名の名前あり)
49	【5】	田 稲荷神社	1919	大正8/旧3/15	社寺	三峰山 (裏面) 大正八年旧三月十五日 萩野妙光 建之
50	【69】	上組町 駒形神社	1919	大正8/6/13	馬畜	【円相】馬頭観世音 大正八年六月十三日 藤齋伊勢松 建之
51	【221】	南部神社 (境内)	1920	大正9/9/17	標石	鍋倉神社 (右側面) 大正九年九月十七日 (左側面) 波木井實長 第三十五代 従四位男 南部義信 謹書 (本体②) 奉納者 石直喜十郎(以下26名の名前あり)
52	【183】	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石	白泉山萬福寺 (右側面) 大正十年七月十三日 當山十四世靈鷲代
53	【184】	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石	眞宗大谷派 (左側面) 施主 萬守三 小川賢吾
54	【190】	加茂神社	1922	大正11/4/23	社寺	金華山 (右側面) 大正十一年四月廿三日 (裏面) 西風館口蔵(以下6名の名前あり)
55	【31】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1922	大正11/旧6/15	神仏	祈願 雷神 内稲荷大神 (右側面) 大正十一年 旧六月十五日 (左側面) 日下□□ 建之

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
56	【198】	下屋稲荷神社	1923	大正12/11/8	馬畜	駒形大神 (右側面) 大正十二年十一月八日 建之 高橋善太郎
57	【16】	程洞稲荷社 (境内)	1923	大正12/-/-	社寺	金華山 (裏面) 大正十二年 (多数名前あるが、摩耗して読めず)
58	【81】	遠野第二ダム 手前	1924	大正13/旧正月/7	庚申	庚申 大正十三年甲子年 旧正月七日 (正面下部) 菊池口(以下8名の名前あり)
59	【200】	鍋倉山 トイレ脇	1924	大正13/5/3	記念	東宮殿下 御成婚記念 石鳥居奉納者 金五十円 平澤文治(以下57名の名前あり) (裏面) 大正十三年五月三日建設 協賛員 部長 佐藤二郎(以下15名の名前あり)
60	【149】	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石	北身延波木井山智恩寺 (右側面) 南無勅賜立正大師日蓮大菩薩六百五十遠忌報恩謝徳 (左側面) 波木井殿靈場(以下本文略) (裏面) 大正十三年太才甲子十月十三(以下本文略)
61	【150】	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石	南無妙法蓮華經 開基 日高【花押】 (右側面) 波木井殿靈場北身延智恩寺(以下本文略) (左側面) 銘 赫口々神州兵航束旅順日(以下本文略) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず)
62	【139】	卯子酉神社	1924	大正13/12/27	神仏	金神目 大正十三年 十二月二十七日
63	【53】	日枝神社 (境内)	1925	大正14/6/2	社寺	金華山 (右側面) 大正十四年六月二日 建之 (5段にわけて、名前(39名)あるが、摩耗して読めず)
64	【152】	智恩寺 (境内)	1925	大正14/9/3	記念	故醫學士杉本元亜君記念塔 (右側面) 遠野町有志一同建之 當山五世日妙代 (裏面) 君諱元亜姓杉本石川縣(以下本文略) 大正十四年九月三日 岩手縣立遠野中學校教諭中世古一徳撰并書
65	【119】	多賀神社 (入口)	[1925]	[大正14/-/-]	記念	銀婚式奉祝記念石鳥居 奉納 遠野消防正義會 前組頭 加茂久四郎(以下190名の名前あり)
66	【163】	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石	善明寺 (裏面) 大正十五年五月三日
67	【164】	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石	金光山 (裏面) 施主 山尾判十郎
68	【68】	上組町 駒形神社	1928	昭和3/7/-	馬畜	【円相】馬頭観[世] 昭和三年七 白金藤口建

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
69	【89】	遠野第二ダム 手前	1928	昭和3/9/13	馬畜	駒形大〔神〕 (裏面) 昭和三年九月十三日 森川春〔治〕 〔建〕
70	【10】	九重沢不動堂	〔1928〕	〔昭〕〔和〕3/11/10	標石	九重沢不動尊碑 〔昭〕〔和〕三〔年〕 御大典記念 (右側面) 昭和三年十一月十日 (左側面) 奉納者 遠野町字穀町平澤庄右衛門
71	【104】	宇迦神社 (境内)	1929	昭和4/3/13	記念	石鳥居奉納者 昭和四年三月十三日 村上練治(以下39名の名前あり) 石工大坂
72	【47】	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/5/-	亡者供養	消防追悼碑 (裏面) 昭和四年五月竣工 建設委員長 警部 板橋長右衛門(以下11名の名前あり) (台座②裏面) 石工 菊池隆太郎 小松五松 菊池春吉
73	【54】	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/6/1	社寺	古峯山 (裏面) 昭和四年六月一日□□ (2段に分けて名前(23名)あるが、摩耗して読めず)
74	【179】	大慈寺 (境内)	1929	昭和4/6/-	記念	□□記念碑 □□□□□□□□□□ 石□□□書 (裏面) 大正十二年十月廿二日焼失(以下本文略) 昭和四年六月〔中〕三次法幢之日 建之 大矢明三(以下40名の名前あり)
75	【42】	日枝神社 (入口)	1929	昭和4/旧6/1	標石	日枝神社 (左側面) □□□□□□□□ (裏面) 昭和四年旧六月一日 奉納 遠野町 平澤七蔵
76	【18】	程洞稲荷社 (境内)	1930	昭和5/2/8	神仏	水神 奉納 (左側面) 昭. 五. 二. 八
77	【128】	伊勢両宮神社 (入口)	1930	昭和5/3/14	標石	伊勢両宮神社 (裏面) 昭和五年三月十四日参拝 (台座②正面) 奉納 参宮記念 及川福三(以下9名の名前あり)
78	【171】	善明寺 (境内)	1930	昭和5/4/28	記念・ 標石	いちみ 樹齡七百年 松崎ウツコ (裏面) 昭和五年四月廿八日 寄附者 久手 菊池馬吉
79	【40】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1930	昭和5/9/3	不明	(碑文解読出来ず) (右側面) 昭和五年九月三日 遠野町 開設者 平澤庄右エ門 (左側面) 世話人

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
80	【115】	ショッピングセンターとびあ前	1930	昭和5/12/-	記念	勇町開町記念碑 (左側面) 故佐々木勇吉翁傳 佐々木勇吉翁は嘉永三年三月(以下本文略) (右側面) なる其の公益事業に貢献なる(以下本文略) 昭和五年十二月 金田一國士撰
81	【130】	伊勢両宮神社 (境内)	1931	昭和6/旧2/12	神仏	奉齋(右)乃水神塔 昭和六年旧二月十二日
82	【23】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1931	昭和6/4/10	記念	青麻山道路開通記念碑 昭和六年四月十日 開通者 平澤庄右エ門
83	【197】	下屋稲荷神社	1931	昭和6/5/9	標石	正一位下屋稲荷神社標 (左側面) 昭和六年五月九日 高橋善太郎建之
84	【34】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1931	昭和6/旧6/15	標石	欠ノ上稲荷神社 (右側面) 昭和六年旧六月十五日 (左側面) 奉納者 遠野町及川酉蔵
85	【189】	加茂神社	1931	昭和6/旧7/17	神仏	水神 (左側面) 昭和六年旧七月十七日 建之
86	【2】	遠野ダム栃洞 水位観測所付近	1931	昭和6/10/15	記念	締田山記念碑 締田山秣場植林之碑位勲三等(以下本文略) 大正六年十二月下浣 (右側面) 昭和六年十月十五日 建設 (裏面) □下當時町會議員 菊池松雄(以下60名の名前あり) 昭和六年十月十五日 建設
87	【170】	善明寺 (境内)	1933	昭和8/5/28	亡者供養	無縁塔 (左側面) 昭和八年五月二十八日 第五十世善譽代
88	【44】	日枝神社 (境内)	1933	昭8/7/28	畜霊供養	蠶霊塔 (右側面) 昭和八年七月二十八日 (台座②右側面) 発起人 清見剛雄(以下9名の名前あり) 石工 小松三三松
89	【161】	常福寺 (境内)	1933	昭和8/-/-	記念	鐘樓堂 腰組みと言う組立方式で造られ(以下本文略) 建築された年 昭和八年(西曆一九三三年)
90	【43】	日枝神社 (入口)	1934	昭和9/5/25	神仏	天満宮 (右側面) 昭和九年五月廿五日 遠野(町)□□□□一同 □人會 □□一同
91	【93】	遠野第二ダム 手前	1935	昭和10/3/28	馬畜	馬頭觀世[音] 栗毛 昭和十年 三月廿八日 小井
92	【7】	〆田 遠野住田線沿い	1936	昭和11/閏3/8	神仏	水神 (裏面) 昭和十一年閏三月八日 萩野勘次[郎] 立之

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
93	【56】	三丸屋向かい	1936	昭和11/9/5	馬畜	馬頭観世 昭和十一年九月五日 會下寅
94	【181】	大慈寺 (境内)	1937	昭和12/10/23	亡者供養	物故軍人追悼碑 陸軍大将井上幾太郎書 (右側面) 昭和十二年十月二十三日建之 (裏面) 石工 河村慶一
95	【156】	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石	柳玄寺
96	【157】	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石	曹洞宗 (裏面) 施主 當山廿世惺禪代 萬屋五代政五郎 昭和十五年二月廿四日
97	【192】	加茂神社	1940	昭和15/7/吉日	馬畜	馬頭観世音 (裏面) 昭和十五年七月吉日 松田豊吉 建之
98	【25】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1944	昭和19/3/15	社寺	古峰山 (裏面) 立花政吉(以下23名の名前あり) 昭和十九年三月十五日
99	【98】	(有)遠野衛生社 敷地内	1947	昭和22/9/12	神仏	山神 (裏面) 昭和二十二年九月十二日 打越若松之立
100	【97】	(有)遠野衛生社 敷地内	1947	昭和22/9/28	神仏	土公神 (裏面) 昭和二十二年九月二十八日 年取十二月八日 打越若松之建
101	【59】	会下の十王堂	1947	昭和22/12/23	神仏	三寶大荒神 (裏面) 昭和廿二年十二月廿三日 會下与三郎 建之
102	【8】	田 遠野住田線沿い	1948	昭和23/3/8	神仏	三寶荒神 (裏面) 昭和廿三年三月八日 勘次郎建
103	【72】	上組町 跨線橋脇	1948	昭和23/旧8/8	神仏	三寶大荒神 (右側面) 昭和廿三年 旧八月八日
104	【60】	会下の十王堂	1948	昭和23/12/23	神仏	【カーン】山神 (右側面) 昭和廿三年十二月廿三日 會下与三郎建
105	【22】	東北自動車道 鍋倉トンネル付近 山中	1954	昭和29/4/-	記念 ・ 亡者供養	遺族の森之碑 昭和二十九年四月植樹 遠野町遺族会 栃内責峰謹書 (左側面) 昭和六年満州事变起り更に(以下本文略) 会長 伊藤重蔵(以下14名の名前あり) (裏面) 遠野遺族会 昭和二十二年五月結成 初代会長 伊藤 栄一(以下150名の名前あり) 石工 菊池隆太郎 佐々木丑松

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
106	【30】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1955	昭和30/2/2	神仏	姫金神 (裏面) 昭和三十年二月二日 及川三蔵
107	【210】	南部神社 (入口)	1957	昭和32/5/7	標石	遠野公園 南部神社 (右側面) 謹書 高橋好見 (左側面) 石工 小原藤市 (裏面) 昭和三十二年五月七日建之 筆頭総代 奥寺口太郎代
108	【36】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1958	昭和33/10/21	記念	我神之森 皇紀二千六百年拜殿新築記念 昭和三十三年十月二十一日 十五周年記念建碑 畝及謹正【印】 宮司勲八等 飛内隆助(以下13名の名前あり) (右側面) 新田建治(以下13名の名前あり) (左側面) 沢村サワ(以下19名の名前あり) (裏面) 佐々木ナヨノ(以下174名の名前あり)
109	【52】	日枝神社 (境内)	1958	昭和33/-/-	記念	新里嘉助翁頌徳碑 故新里嘉助君は明治十六年(以下本文略) 昭和三十三年 後輩勲四等 泉国三郎 撰並書 (裏面) 発企人 遠野町 警防団長 泉国三郎(以下40名の名前あり) 石工 山田
110	【100】	宇迦神社 (入口)	1961	昭和36/旧3/12	標石	旧蹟一里塚 一里塚の濫觴は「吾妻境」に(以下本文略) 昭和三十六年旧三月十二日 (裏面) 七十七里 花巻郡山大槌釜石十八里高田岩谷堂(以下本文略)
111	【203】	鍋倉公園 展望台付近	1962	昭和37/7/15	記念	彰徳碑 皇國興廢 在此一戦 各員一層 奮励努力 東郷平八郎 伊藤清五郎翁略歴(以下本文略) 昭和三十七年七月十五日 (裏面) 本碑の建立に際しては遠野市(以下本文略) 顕彰會長 村上順弥(以下10名の名前あり)
112	【173】	大工町 自治会館隣り	1963	昭和38/12/18	記念	乳牛感謝之碑 創立十周年記念 昭和三十八年十二月十八日建之 遠野地方酪農青年研究連盟 (裏面) 委員長 昆政義(以下34名の名前あり)
113	【186】	対泉院付近 来内川沿い	1964	昭和39/11/吉日	念仏	南無妙法蓮華經 (左側面) 昭和三十九年十一月吉日建之
114	【201】	鍋倉山 斜面	1970	昭和45/11/15	詩歌	迷路の多し 古城址に六角牛 ほとゞぎす (裏面) 昭和四十五年十一月十五日 遠野俳句会 これを建てる
115	【116】	遠野駅前	1970	昭和45/-/-	記念	遠野物語 此話はすべて遠野の人佐々木(以下本文略) 柳田國男 (左側面) 碑文 日本民俗学会々長 大藤時彦書 建碑の由来 日本民俗学会々員 山下久男書 (裏面) 建碑の由来(以下本文略) 昭和四十五年

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
116	【193】	岩手県立 遠野高等学校	1971	昭和46/10/-	詩歌	校歌 一、城趾の西に聳ゆる麓(以下本文略) 遠高創立七十周年を記念して贈る 昭和四十六年十月 遠中第四十回卒業生 (台座正面) 浅沼浩(以下78名の名前あり)
117	【117】	遠野市民センター	1971	昭和46/12/1	記念	遠野市民センター 遠野市民憲章 わたくしたちは 清らかな山河(以下本文略) (裏面) 昭和四十六年十二月一日 竣工
118	【51】	日枝神社 (境内)	1972	昭和47/11/15	畜霊供養	愛犬乃碑 遠野市長工藤千蔵書 (台座①正面) 獣医師 加茂良三(以下5名の名前あり) 遠野市 宮守村 岩手県遠野保健所 昭和四十七年十一月十五日建立 石工 山田善一
119	【46】	日枝神社 (境内)	1973	昭和48/6/30	記念	拜殿落成記念 大日山 日枝神社 古松者杉の緑いや深き処(以下本文略) 大日山日枝神社拜殿建設協賛会 会長 新里善治(以下72名の名前あり) (台座②正面) 台石奉納者 土沢昌三 小松喜一 及川誠一 (裏面) 一、金三万円三浦設計(以下155名の名前あり) 昭和四十八年六月三十日 例祭日佳辰建之
120	【1】	遠野ダム枡洞 水位観測所付近	1974	昭和49/4/吉日	記念	物見山 民話の古里遠野の母なる山(以下本文略) 昭和四十九年四月吉日 (裏面) 物見山牧野組員名簿 理事 新里善治(以下143名の名前あり) 綾織町 山田石材
121	【207】	鍋倉城二ノ丸	1974	昭和49/-/-	詩歌	花は根にかへり 真味は土に とどまる (裏面) 昭和四十九年 日家建立
122	【19】	程洞稲荷社 (境内)	1977	昭和52/7/-	標石	霊水 (左側面) 奉納 下組町三郎 作 (裏面) 昭. 五二. 七
123	【12】	程洞稲荷社 (入口)	1977	昭和52/8/-	標石	程洞社参道 (裏面) 昭. 五二. 八. 三郎刻建
124	【132】	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	標石	神明流跡 昭. 五二. 八. 佐々木三郎 建之
125	【135】	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	畜霊供養	蜜蜂 兎鷄 供養塔 (裏面) 昭. 五二. 八. 佐々木三郎 刻建
126	【140】	卯子酉神社脇	1977	昭和52/8/-	標石	五百羅漢 登口 (裏面) 昭. 五二. 八. 刻建. 佐[]木 三郎

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
127	【187】	下組町バス停前	1977	昭和52/8/-	標石	程洞社. 登 金勢社. 口 (左側面) 昭. 五. 二. 八 下組工業[所](以下本文略) (右側面) (程洞社への地図あり)
128	【205】	鍋倉城二ノ丸	1977	昭和52/11/-	記念	鴻猷在茲 遠野南部家廟改修碑 遠野南部氏 そのさき甲斐國(以下本文略) 昭和五十二年十一月三十七世南部光徹謹白 (裏面) 建碑協力者芳名 工藤千蔵(以下7名の名前あり)
129	【165】	善明寺 (入口)	1979	昭和54/8/孟蘭盆	亡者供養	三界萬靈 (右側面) 昭和五十四年乙未八月孟蘭盆 □願主當山第五十三世信阿併拜吉
130	【146】	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念 ・ 詩歌	(正面右側) 出でよ りく続として出でよ(以下本文略) 市民センター構想完成記念 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 (正面左側) 喜びは渦汐なして(以下本文略)
131	【148】	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念	元衆議院議員 泉國三郎住居跡 氏は明治二十九年十二月(以下本文略) 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 書 綾織町 山田善六 建之
132	【206】	鍋倉城二ノ丸	1980	昭和55/-/-	不明	我不愛身命 但惜無上道 (裏面) 昭和五十五年春彼岸(以下本文略)
133	【124】	遠野市立 遠野小学校	1981	昭和56/10/19	記念	岩手県立 遠野高等女学校跡 遠高創立80周年を記念して 昭和56年10月19日遠高同窓会建立 俊島記【印】
134	【158】	柳玄寺 (墓所)	1981	昭和56/11/28	標石	釜鳴神之碑 柳田國男著 遠野物語拾遺九三話 (初版本明治四十三年) 遠野一日市の乍平という家が(以下本文略) (左側面) 遠野市長工藤千蔵氏および(以下本文略) 昭和五十六年十一月二十八日 綾織町 石匠 山田善作
135	【217】	南部神社 (参道)	1982	昭和57/9/-	記念	余は今回の南遊査祭の途に上らんとするに當り自ら三條の方則に立て たり 第一、疾病其の如何なる事故(以下本文略) (裏面) 建碑ノ由来 伊能嘉矩先生ハ明治元年遠野(以下本文略) 昭和五十七年九月
136	【154】	智恩寺 (能王稻荷神社)	1982	昭和57/10/12	神仏	和脩吉龍王山神 昭和五十七年十月十二日
137	【108】	大工町通り沿い	1986	昭和61/4/26	標石	高善旅館跡 (左側面) 柳田国男先生御投宿 (裏面) 昭和六十一年四月二十六日 遠野市

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
138	【195】	東南部 農業共済組合	1986	昭和61/11/吉日	記念	済度互恵 遠野地方農業共済組合 組合長理事 菊池正 書 (裏面) 記 遠野地方農業共済組合(以下本文略) 竣工 昭和六十一年十一月吉日 組合長 菊池正(以下44名の名前あり)
139	【105】	蔵の道ひろば	1988	昭和63/11/22	記念	非核平和宣言 遠野市 1985.6.25 (台座正面) ー非核平和都市宣言ー 世界の恒久平和は、人類共通(以下本文略) 2006.6.16 遠野市 (贈 1988.11.22 原水禁遠野宮守地区実行委員会)
140	【142】	遠野 簡易裁判所前	1989	平成1/8/吉日	記念	遠野教育発祥の地 (裏面) 遠野教育小史(以下本文略) 平成元年8月吉日 昭和16年度国民学校 卒業生還暦祝賀會事業
141	【211】	南部神社 (入口)	1990	平成2/11/吉日	標石	南部神社 (裏面) 平成二年十一月吉日 遠野南部第三十七代光徹謹書
142	【225】	南部神社 (境内)	1991	平成3/5/3	記念・ 標石	この清水は歴代遠野南部藩 主(お殿様)が愛用された水です。 奉納平成三年五月三日 遠野市綾織町 山田善作
143	【110】	大工町通り沿い	1991	平成3/7/-	記念	手作り郷土賞 建設大臣 大塚 司書 素材部門 岩手県 遠野市 平成三年七月 寄贈(社)東北建設協会 昭和六十三年四月 第三回美しい都市づくり経済同友会大賞 平成元年六月 建設大臣魅力あるまちづくり功労表彰
144	【172】	善明寺 (寺寶館)	1991	平成3/8/23	記念	寺寶館【印】 東京 貞林院瑞正寺設立 平成三年辛未八月二十三日上棟 善明寺五十四世最口代
145	【196】	遠野コロニー	1991	平成3/12/27	記念	御下賜金拝受記念 平成三年十二月二十七日 社会福祉法人睦会
146	【118】	遠野市民センター	1994	平成6/6/-	詩歌	雪晴も 雪に暗むも 遠野かな 汀子 本名 稲畑汀子(以下経歴略) (裏面) 平成三年NHK冬季BS遠野(以下本文略) 平成六年六月遠野市建之
147	【65】	鶯崎 市営住宅向かい	1994	平成6/9/吉日	記念	諸行無常 (裏面) 宇打越之由来 戦国の寛永十二年(以下本文略) 平成六年九月吉日 前岩手県議会議長 遠野市長 菊池正 撰書
148	【62】	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/-	記念	以和為貴 稲荷下地区土地区画整理事業落成記念 平成7年3月 遠野市長 菊池正
149	【63】	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/吉日	記念	事業のあらまし 1目的 本地区は、遠野駅から(以下本文略) 2概要 名称 遠野都市計画稲荷下地区 土地区画整理事業(以下本文略) 平成7年3月吉日建立

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
150	【224】	南部神社 (境内)	1995	平成7/4/吉日	詩歌	遠野火 眠る山めぐらし民話の里と呼ぶ(以下16名の俳句あり) 平成七年四月吉日 遠野俳句会建之 会長菊池悠人 高橋荷葉書【印】【印】 石工 山田善作
151	【202】	鍋倉公園 展望台付近	1995	平成7/8/10	記念	愛國心とは蓋し愛郷心の延長のみ而て真の郷土の愛は甘棠の愛より来る 伊能嘉矩(以下本文略) (裏面) 大自然に息吹く田園都市建設(以下本文略) 平成七年八月十日 遠野市戦後五十年 平和祈念事業実行委員会 遠野市 助役 中居健雄(以下28名の名前あり)
152	【176】	遠野 浄化センター	1996	平成8/8/1	記念	遠野浄化センター 平成八年八月一日 遠野市長 菊池正
153	【226】	南部神社 (一乗稲荷大明神)	1996	平成8/12/吉日	標石	一乗稲荷大明神 (左側面) 平成八年十二月吉日 宮司 金田一京一 山田善作
154	【101】	宇迦神社 (境内)	1997	平成9/1/吉日	標石	遠野郷最大の一日市火事 明治二十四年五月、石倉町酒造場から、(以下本文略) 平成九丁丑年一月吉日
155	【61】	稲荷下 屋内運動場	1997	平成9/3/-	記念	落成記念 心に安らぎを 平成9年3月 遠野市長 菊池正 書 寄贈 松田建設株式会社
156	【141】	遠野 簡易裁判所前	1997	平成9/10/26	記念	顕彰碑 東北民謡の父 武田忠一郎先生(以下本文略) (裏面) 碑建立の由来(以下本文略) 平成九年十月二十六日 武田忠一郎氏を顕彰する推進委員会
157	【143】	遠野 簡易裁判所前	1998	平成10/3/-	標石	信成堂跡(江刺県庁舎) (右側面) 信成堂とは「信以成之」の意で(以下本文略) (左側面) 嘉永五年(一八五二)(以下本文略) (裏面) 漢字。詩歌。書画を好む者が(以下本文略) 平成十年三月 岩手県青少年育成委員会 山田善作
158	【185】	萬福寺 (境内)	2001	平成13/7/28	記念 ・ 標石	宗祖 親鸞聖人像 (左側面) 白泉山萬福寺十七世 □信正代
159	【194】	岩手県立 遠野高等学校	2001	平成13/10/13	記念	校訓 修徳尚武 創立百周年記念として(以下本文略) 平成十三年十月十三日 (裏面) 明治三十四年(一九〇一)五月十九日 「岩手県遠野中学校」として(以下本文略)
160	【222】	南部神社 (境内)	2004	平成16/4/-	標石	社号標について 本社の祭神は約700年間(以下本文略) 大鶴堰について 遠野南部家は代々月山(以下本文略) 平成16年4月 奉納者 山田善作
161	【218】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念 ・ 標石	東北一遠野南部七福神寄付者御芳名 一、金十万円也 岩手アパレル(株)(以下117名の名前あり)
162	【219】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念 ・ 標石	東北一 遠野南部 七福神 此の七福神は八戸市出身の(以下本文略) 平成二十一年五月三日建立 南部神社宮司 金田一京一代

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
163	【220】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念・ 標石	東北一 遠野南部七福神 鍋倉山鎮座 社号標 平成二十一年五月三日 建立 奉納者 東殺町一―二九 山蔭 満吉 みつよ 綾織町 山田善作 南部神社宮司 金田一京一代
164	【112】	とおの物語の館	2011	平成23/6/-	記念	6.14 遠野物語の日 (裏面) 6.14 「遠野物語の日」宣言 『遠野物語』は、柳田國男と遠野(以下本文略) 平成二十三年六月 (「遠野物語の日」宣言の英訳あり) 遠野物語百周年 この碑の宣言文は(以下本文略)
165	【102】	宇迦神社 (境内)	2011	平成23/11/吉日	記念・ 標石	宝地藏 平成二十三年三月十一日の東日本大震災によって倒壊した、鳥居を修復し、今後の皆様の安全祈願として、ここに地藏を献納し、地藏を「宝地藏」と命名いたします。 平成二十三年十一月吉日 山田石材店
166	【155】	瑞応院	2013	平成25/3/-	記念	鳳徳山瑞應院 安寧地藏菩薩 (裏面) 瑞應院有縁無縁諸精霊菩提 東日本大震災物故者菩提 平成二十五年三月 十七世臥雲智龍 合掌
167	【144】	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	詩歌	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか流れのあらむ尋ね来し遠野静かに水の音する 平成二十五年七月四日、(以下本文略) 平成三十年七月四日 皇后陛下御歌碑建立実行委員会 会長 角田幸四郎
168	【145】	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	詩歌	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか 流れのあらむ 尋ね来し 遠野静かに 水の音する
169	【209】	鍋倉城二ノ丸	2019	令和1/6/吉日	記念	法華堂建立勸進文 教主釋迦牟尼正徧知 涅槃の雲に入りまして 正法千は西の天 餘光に 風も香はしく 像法千は華油燈の 影堂塔に照り映えき(以下本文略) (裏面) 令和元年六月吉日 奉納 南部恵美子 南部壽々子
170	【74】	遠野葬祭会館隣	—	□9/7/21	庚申	奉庚申 (右側面) □九 七月廿一日
171	【75】	遠野葬祭会館隣	—	文□2/7/12	念仏	【円相】南無阿弥陀佛 文□二〇年 七月十二日 建之
172	【77】	遠野第二ダム 手前	—	□治□□/8/-	庚申	【日月】庚申 □治□□年 □□八月
173	【151】	智恩寺 (境内)	—	□□13/12/14	記念	故多田立郎七君記念塔 (裏面) □□十三年十二月十四日 朋友知己一同
174	【166】	善明寺 (境内)	—	-/4/8	念仏	【日月】【卍】南無阿弥陀佛 當寺□□五世 居 (文字あるが、摩耗して読めず) (左側面) 四月八日
175	【3】	遠野ダム脇	—	—	不明	(碑文解読出来ず)

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
176	【4】	遠野ダム脇	—	—	不明	[神] (左右に文字あるが、解読出来ず)
177	【6】	〆田 遠野住田線沿い	—	—	神仏	水神
178	【9】	遠野第二ダム	—	—	標石	遠野第二ダム 岩手県知事 達増拓也書
179	【13】	程洞稲荷社 (入口)	—	—	標石	奉納
180	【14】	程洞稲荷社 (入口)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
181	【15】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
182	【17】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
183	【20】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	神仏	山神
184	【21】	程洞稲荷社 霊水場	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
185	【27】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	—	—	社寺	金毘羅
186	【32】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	—	—	神仏	山神
187	【33】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	—	—	神仏	稲荷大明神
188	【35】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	—	—	神仏	山神 三寶荒神
189	【37】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	—	—	不明	[齋][所]
190	【41】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	—	—	詩歌	垂霊泉 紅一點能 渡し舟
191	【48】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
192	【49】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
193	【50】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
194	【64】	鶯崎 市営住宅向かい	—	—	記念	輪廻転生 (裏面) □□□□□ 祝正先生岩手県議会議長就任平成三年春日□□□【印】【印】 建立者 妻八重子 石工 田中忠肝
195	【67】	上組町 駒形神社	—	—	馬畜	駒形神〔社〕 願主 太田〔馬〕
196	【78】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申	【円相】庚申
197	【80】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申	【日月】庚申
198	【87】	遠野第二ダム 手前	—	—	山岳	湯殿山
199	【92】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申	庚申塔
200	【99】	遠野市斎場	—	—	畜霊供養	永遠の丘 ペット供養塔 (左側面) 遠野市斎場管理事業協同組合

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
201	【106】	蔵の道ひろば	—	—	標石	蔵の道ひろば
202	【107】	八坂神社	—	—	不明	(碑文解説出来ず)
203	【109】	大工町通り沿い	—	—	標石	裏町
204	【111】	大工町通り沿い	—	—	標石	中同心 (右側面) 長柄組 (左側面) 持筒同心 (裏面) 裏町
205	【113】	とおの物語の館	—	—	不明	(碑文解説出来ず)
206	【114】	とおの物語の館	—	—	追分	左ハ はやち祢 右ハ た加の春
207	【120】	多賀神社 (入口)	—	—	標石	多賀神社 舊蹟多[可]の里 千葉重胤謹書
208	【121】	多賀神社 (入口)	—	—	神仏	山神
209	【122】	多賀神社 (入口)	—	—	社寺	金華山 二川□□謹書
210	【125】	合同庁舎 職員駐車場裏山	—	—	不明	(碑文解説出来ず)
211	【126】	合同庁舎 職員駐車場裏山	—	—	社寺	古峯神社 良一
212	【127】	六日町住宅街 水路脇	—	—	馬畜	駒形大神
213	【131】	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解説出来ず)
214	【134】	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	詩歌	幸福ハ.生涯健康デ.仲良ク.伕ケテ.神仏ヲ.拝メルコト.也 (台座左側面) 奉納 参宮記念
215	【138】	卯子酉神社	—	—	神仏	水神
216	【153】	智恩寺 (境内)	—	—	記念	宗祖日蓮大聖人報恩謝徳 (右側面) 如日月光門能除諸幽冥 (左側面) 斯人行世間 能滅衆生闇 (裏面) 為宗祖日蓮大聖人第七百遠忌(以下本文略)
217	【159】	常福寺 (参道)	—	—	亡者供養	三界萬霊
218	【160】	常福寺 (境内)	—	—	念仏	【キリーク】千月回口南無阿弥陀佛
219	【162】	善明寺 (入口)	—	—	標石	錦洞文庫記念館 (右側面) 寺宝寺什名僧墨蹟日中古今名華文房四宝美術書冊收藏 (左側面) 拝観予約制 冬期休館 (裏面) 車止
220	【167】	善明寺 (境内)	—	—	詩歌	月を見るころ 限りのつかざりし 蘆川

年代順	通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
221	【177】	大慈寺 (入口)	—	—	標石	殺生禁前川
222	【178】	大慈寺 (入口)	—	—	標石	葷酒禁山門
223	【199】	鍋倉・市立図書館付近	—	—	神仏	三寶大荒神 姫金神
224	【204】	鍋倉城二ノ丸	—	—	標石	洗心のところ
225	【215】	南部神社 (参道)	—	—	詩歌	雨をりをり 思うことなき 早苗哉
226	【223】	南部神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)

(3) 種類別分類

○顕彰碑・歌碑 70 基

- ①記念 55 (「顕彰」21、「落成」17、「植林」3、「平和」3、「創立」3、「開通」1、「就任」1、「字名由来」1、「受賞」1、「奉祝」1、「拝受」1、「御成婚」1、「改修」1)
- ②詩歌碑 12 (「歌碑」1、「句碑」11)

○庚申信仰碑 17 基

- ①「庚申」17

○山岳信仰・社寺碑 14 基

- ①「金華山」5、②「古峯山」4、③「金毘羅」3、④「出羽三山」1 (湯殿単刻：1)、⑤「三峯山」1

○神仏祭祀碑 53 基 (重複計上)

- ①「山神」13、②「水神」7、③「荒神」5、④「明神」2、⑤「不動尊」1、⑥「奉齋水速女之大神」1、⑦「姫金神」1、⑧「雷神」1、⑨「内稻荷大神」1、⑩「天満宮」1、⑪「日枝大神」1、⑫「土公神」1、⑬「金神目」1、⑭「弘法大師」1、⑮「馬畜供養」16 (「馬頭観世音」11、「駒形大神」3、「駒形神社」1、「駒形大社」1)

○念仏・亡者供養碑 20 基

- ①「畜霊供養」6、②「萬霊」4、③「南無阿弥陀仏」3、④「南無妙法蓮華経」2、⑤「戦没者供養」2、⑥「死没者供養」2、⑦「念仏供養」1

○追分石 3 基

○標石 45 基

○不明 19 基

種類別に見た遠野町の特徴の 1 つとして挙げられることは、顕彰記念や落成記念といった記念碑や、詩を刻んだ詩歌碑、標石が多いということである。信仰碑や社寺碑、神仏祭祀碑、念仏・亡者供養碑も存在するが、他の地域と比べるとその数は少ない。

表3 種類別石碑一覧

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【1】	遠野ダム柵洞 水位観測所付近	1974	昭和49/4/吉日	記念-1	顕彰記念	物見山 民話の古里遠野の母なる山(以下本文略) 昭和四十九年四月吉日 (裏面) 物見山牧野組合員名簿 理事 新里善治(以下143名の名前あり) 綾織町 山田石材
【2】	遠野ダム柵洞 水位観測所付近	1931	昭和6/10/15	記念-2	植林記念	縮田山記念碑 縮田山林場植林之碑位勲三等(以下本文略) 大正六年十二月下浣 (右側面) 昭和六年十月十五日 建設 (裏面) □下當時町會議員 菊池松雄(以下60名の名前あり) 昭和六年十月十五日 建設
【22】	東北自動車道 鍋倉トンネル付近 山中	1954	昭和29/4/-	記念-3 亡者供養-1	植林記念 戦没者供養	遺族の森之碑 昭和二十九年四月植樹 遠野町遺族会 柵内責峰謹書 (左側面) 昭和六年満州事変起り更に(以下本文略) 会長 伊藤重蔵(以下14名の名前あり) (裏面) 遠野遺族会 昭和二十二年五月結成 初代会長 伊藤 栄一(以下150名の名前あり) 石工 菊池隆太郎 佐々木丑松
【23】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1931	昭和6/4/10	記念-4	開通記念	青麻山道路開通記念碑 昭和六年四月十日 開通者 平澤庄右エ門
【36】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1958	昭和33/10/21	記念-5	落成記念	我神之森 皇紀二千六百年拜殿新築記念 昭和三十三年十月二十一日 十五周年記念建碑 畝及謹正【印】 宮司勲八等 飛内隆助(以下13名の名前あり) (右側面) 新田建治(以下13名の名前あり) (左側面) 沢村サワ(以下19名の名前あり) (裏面) 佐々木ナヨノ(以下174名の名前あり)
【46】	日枝神社 (境内)	1973	昭和48/6/30	記念-6	落成記念	拜殿落成記念 大日山 日枝神社 古松者杉の緑いや深き処(以下本文略) 大日山日枝神社拜殿建設協賛会 会長 新里善治(以下72名の名前あり) (台座②正面) 台石奉納者 土沢昌三 小松喜一 及川誠一 (裏面) 一、金三万円三浦設計(以下155名の名前あり) 昭和四十八年六月三十日 例祭日佳辰建之
【52】	日枝神社 (境内)	1958	昭和33/-/-	記念-7	顕彰記念	新里嘉助翁頌徳碑 故新里嘉助君は明治十六年(以下本文略) 昭和三十三年 後輩勲四等 泉國三郎 撰並書 (裏面) 発企人 遠野町 警防団長 泉國三郎(以下40名の名前あり) 石工 山田
【61】	稲荷下 屋内運動場	1997	平成9/3/-	記念-8	落成記念	落成記念 心に安らぎを 平成9年3月 遠野市長 菊池正 書 寄贈 松田建設株式会社
【62】	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/-	記念-9	落成記念	以和為貴 稲荷下地区土地区画整理事業落成記念 平成7年3月 遠野市長 菊池正

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【63】	稲荷下 跨線橋沿い公園	1995	平成7/3/吉日	記念-10	落成記念	事業のあらし 1目的 本地区は、遠野駅から(以下本文略) 2概要 名称 遠野都市計画稲荷下地区 土地区画整理事業(以下本文略) 平成7年3月吉日建立
【64】	鶯崎 市営住宅向かい	—	—	記念-11	就任記念	輪廻転生 (裏面) □□□□□ 祝正先生岩手県議会議長就任平成三年春日□□□【印】【印】 建立者 妻八重子 石工 田中忠肝
【65】	鶯崎 市営住宅向かい	1994	平成6/9/吉日	記念-12	字名之由来記念	諸行無常 (裏面) 字打越之由来 戦国の寛永十二年(以下本文略) 平成六年九月吉日 前岩手県議会議長 遠野市長 菊池正 撰書
【102】	宇迦神社 (境内)	2011	平成23/11/吉日	記念-13 標石-1	平和記念 標石	宝地藏 平成二十三年三月十一日の東日本大震災によって倒壊した、鳥居を修復し、今後の皆様の安全祈願として、ここに地藏を献納し、地藏を「宝地藏」と命名いたします。 平成二十三年十一月吉日 山田石材店
【104】	宇迦神社 (境内)	1929	昭和4/3/13	記念-14	落成記念	石鳥居奉納者 昭和四年三月十三日 村上練治(以下39名の名前あり) 石工大坂
【105】	蔵の道ひろば	1988	昭和63/11/22	記念-15	平和記念	非核平和宣言 遠野市 1985.6.25 (台座正面) —非核平和都市宣言— 世界の恒久平和は、人類共通(以下本文略) 2006.6.16 遠野市 (贈 1988.11.22 原水禁遠野宮守地区実行委員会)
【110】	大工町通り沿い	1991	平成3/7/-	記念-16	受賞記念	手作り郷土賞 建設大臣 大塚 司書 素材部門 岩手県 遠野市 平成三年七月 寄贈(社)東北建設協会 昭和六十三年四月 第三回美しい都市づくり経済同友会大賞 平成元年六月 建設大臣魅力あるまちづくり功労表彰
【112】	とおの物語の館	2011	平成23/6/-	記念-17	顕彰記念	6.14 遠野物語の日 (裏面) 6.14 「遠野物語の日」宣言 『遠野物語』は、柳田國男と遠野(以下本文略) 平成二十三年六月 (「遠野物語の日」宣言の英訳あり) 遠野物語百周年 この碑の宣言文は(以下本文略)
【115】	ショッピング センターとびあ前	1930	昭和5/12/-	記念-18	落成記念	勇町開町記念碑 (左側面) 故佐々木勇吉翁傳 佐々木勇吉翁は嘉永三年三月(以下本文略) (右側面) なる其の公益事業に貢献なる(以下本文略) 昭和五年十二月 金田一國士撰
【116】	遠野駅前	1970	昭和45/-/-	記念-19	顕彰記念	遠野物語 此話はすべて遠野の人佐々木(以下本文略) 柳田國男 (左側面) 碑文 日本民俗学会々長 大藤時彦書 建碑の由来 日本民俗学会々員 山下久男書 (裏面) 建碑の由来(以下本文略) 昭和四十五年

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【117】	遠野市民センター	1971	昭和46/12/1	記念-20	落成記念	遠野市民センター 遠野市民憲章 わたくしたちは 清らかな山河(以下本文略) (裏面) 昭和四十六年十二月一日 竣工
【119】	多賀神社 (入口)	[1925]	[大正14/-/-]	記念-21	奉祝記念	銀婚式奉祝記念石鳥居 奉納 遠野消防正義會 前組頭 加茂久四郎(以下190名の名前あり)
【124】	遠野市立 遠野小学校	1981	昭和56/10/19	記念-22	創立記念	岩手県立 遠野高等女学校跡 遠高創立80周年を記念して 昭和56年10月19日遠高同窓会建立 俊島記【印】
【141】	遠野 簡易裁判所前	1997	平成9/10/26	記念-23	顕彰記念	顕彰碑 東北民謡の父 武田忠一郎先生(以下本文略) (裏面) 碑建立の由来(以下本文略) 平成九年十月二十六日 武田忠一郎氏を顕彰する推進委員会
【142】	遠野 簡易裁判所前	1989	平成1/8/吉日	記念-24	顕彰記念	遠野教育発祥の地 (裏面) 遠野教育小史(以下本文略) 平成元年8月吉日 昭和16年度国民学校 卒業生還暦祝賀會事業
【146】	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念-25 歌碑-1	落成記念 句碑	(正面右側) 出でよ りく統として出でよ(以下本文略) 市民センター構想完成記念 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 (正面左側) 喜びは渦汐なして(以下本文略)
【147】	市立博物館脇	1897	明治30/9/-	記念-26 追分-1	顕彰記念 追分	子産聽鄭國之政以其乘輿濟人(以下本文略) 文久三癸亥九月 湍瀬釣徒識 右ハ□□□ 左は□□□ (下部に名前(11名)あるが、摩耗して読めず) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず) 明治三十年九月
【148】	市立博物館脇	1980	昭和55/5/31	記念-27	顕彰記念	元衆議院議員 泉國三郎住居跡 氏は明治二十九年十二月(以下本文略) 昭和五十五年五月三十一日 遠野市長 工藤千蔵 書 綾織町 山田善六 建之
【151】	智恩寺 (境内)	—	□□13/12/14	記念-28	顕彰記念	故多田立郎七君記念塔 (裏面) □□十三年十二月十四日 朋友知己一同
【152】	智恩寺 (境内)	1925	大正14/9/3	記念-29	顕彰記念	故醫學士杉本元垂君記念塔 (右側面) 遠野町有志一同建之 當山五世日妙代 (裏面) 君諱元垂姓杉本石川縣(以下本文略) 大正十四年九月三日 岩手縣立遠野中學校教諭中世古一徳撰并書

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【153】	智恩寺 (境内)	—	—	記念-30	顕彰記念	宗祖日蓮大聖人報恩謝徳 (右側面) 如日光門能除諸幽冥 (左側面) 斯人行世間 能滅衆生闇 (裏面) 為宗祖日蓮大聖人第七百遠忌(以下本文略)
【161】	常福寺 (境内)	1933	昭和8/-/-	記念-31	落成記念	鐘樓堂 腰組みと言う組立方式で造られ(以下本文略) 建築された年 昭和八年(西暦一九三三年)
【168】	善明寺 (境内)	—	安政-/-/-	記念-32	顕彰記念	東甫翁(寺)碑 遠野之為郷也東北帯海南(以下本文略) 安政丙辰仲冬 工藤廣友 撰 明治乙酉初秋 太田孝 書
【171】	善明寺 (境内)	1930	昭和5/4/28	記念-33 標石-2	植林記念 標石	いちみ 樹齡七百年 松崎ウツコ (裏面) 昭和五年四月廿八日 寄附者 久手 菊池馬吉
【172】	善明寺 (寺寶館)	1991	平成3/8/23	記念-34	落成記念	寺寶館【印】 東京貞林院瑞正寺設立 平成三年辛未八月二十三日上棟 善明寺五十四世最口代
【173】	大工町 自治会館隣り	1963	昭和38/12/18	記念-35	創立記念	乳牛感謝之碑 創立十周年記念 昭和三十八年十二月十八日建之 遠野地方酪農青年研究連盟 (裏面) 委員長 昆政義(以下34名の名前あり)
【176】	遠野 浄化センター	1996	平成8/8/1	記念-36	落成記念	遠野浄化センター 平成八年八月一日 遠野市長 菊池正
【179】	大慈寺 (境内)	1929	昭和4/6/-	記念-37	落成記念	□□記念碑 □□□□□□□□□□ 石□□□書 (裏面) 大正十二年十月廿二日焼失(以下本文略) 昭和四年六月〔中〕三次法幢之日 建之 大矢明三(以下40名の名前あり)
【180】	大慈寺 (境内)	1906	明治39/5/-	記念-38	顕彰記念	勇敢壯烈 陸軍騎兵軍曹新里傳八郎碑銘 陸軍大將從三位勳一等功三級(以下本文略) 明治三十九年五月 鎮西 吉田晚稼書 井龜泉鐫
【185】	萬福寺 (境内)	2001	平成13/7/28	記念-39 標石-3	顕彰記念 標石	宗祖 親鸞聖人像 (左側面) 白泉山萬福寺十七世 □信正代
【194】	岩手県立 遠野高等学校	2001	平成13/10/13	記念-40	創立記念	校訓 修徳尚武 創立百周年記念として(以下本文略) 平成十三年十月十三日 (裏面) 明治三十四年(一九〇一)五月十九日 「岩手県遠野中学校」として(以下本文略)
【195】	東南部 農業共済組合	1986	昭和61/11/吉日	記念-41	落成記念	済度互惠 遠野地方農業共済組合 組合長理事 菊池正 書 (裏面) 記 遠野地方農業共済組合(以下本文略) 竣工 昭和六十一年十一月吉日 組合長 菊池正(以下44名の名前あり)

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【196】	遠野コロニー	1991	平成3/12/27	記念-42	拝受記念	御下賜金拝受記念 平成三年十二月二十七日 社会福祉法人陸会
【200】	鍋倉山 トイレ脇	1924	大正13/5/3	記念-43	御成婚記念	東宮殿下 御成婚記念 石鳥居奉納者 金五十円 平澤文治(以下57名の名前あり) (裏面) 大正十三年五月三日建設 協賛員 部長 佐藤二郎(以下15名の名前あり)
【202】	鍋倉公園 展望台付近	1995	平成7/8/10	記念-44	平和記念	愛國心とは蓋し愛郷心の延長のみ而て真の郷土の愛は甘棠の愛 より来る 伊能嘉矩(以下本文略) (裏面) 大自然に息吹く田園都市建設(以下本文略) 平成七年八月十日 遠野市戦後五十年 平和祈念事業実行委員会 遠野市 助役 中居健雄(以下28名の名前あり)
【203】	鍋倉公園 展望台付近	1962	昭和37/7/15	記念-45	顕彰記念	彰徳碑 皇國興廢 在此一戦 各員一層 奮励努力 東郷平八郎 伊藤清五郎翁略歴(以下本文略) 昭和三十七年七月十五日 (裏面) 本碑の建立に際しては遠野市(以下本文略) 顕彰會長 村上順弥(以下10名の名前あり)
【205】	鍋倉城二ノ丸	1977	昭和52/11/-	記念-46	改修記念	鴻猷在茲 遠野南部家廟改修碑 遠野南部氏 そのさき甲斐國(以下本文略) 昭和五十二年十一月三十七世南部光徹謹白 (裏面) 建碑協力者芳名 工藤千蔵(以下7名の名前あり)
【208】	鍋倉城二ノ丸	1876	明治9/-/-	記念-47	顕彰記念	勤王五世 四代師行命 五代政長命 六代信政命 七代信光命 八代政光命 (裏面) [麦]□五命勤王□南朝□□□(以下本文略) 明治九丙子年 南部専次 謹誌
【209】	鍋倉城二ノ丸	2019	令和1/6/吉日	記念-48	顕彰記念	法華堂建立勸進文 教主釋迦牟尼正徧知 涅槃の雲に入りまして 正法千は西の天 餘光に風も香はしく 像法千は華油燈の 影堂塔に照り映えき(以下 本文略) (裏面) 令和元年六月吉日 奉納 南部恵美子 南部壽々子
【213】	南部神社 (参道)	1848	嘉永1/9/-	記念-49	顕彰記念	翠峰先生土碑 予興君安二十五年而其相會(以下本文略) 嘉永紀元九月 加賀 勝村師軻撰謹集歐□□公字磐井小山實敏 閉伊受業門人拝建
【214】	南部神社 (参道)	1879	明治12/10/-	記念-50	顕彰記念	浅井信威墓 浅井生墓銘 書籍館館長 岡千仞撰文 浅井生名信威字畏郷陸中(以下本文略) 明治十二年卯十月建石
【216】	南部神社 (参道)	1905	明治38/6/-	記念-51	顕彰記念	楓亭奥寺先生碑銘 米國哲學博士衆議院議員早稻田大學教授正六位大石熊吉蒙 君諱康明字廡夫稱勇太奥寺氏(以下本文略) 明治三十八年六月 陸中處士山口剛介書
【217】	南部神社 (参道)	1982	昭和57/9/-	記念-52	顕彰記念	余は今回の南遊査祭の途に上らんとするに當り自ら三條の方則に 立てたり 第一、疾病其の如何なる事故(以下本文略) (裏面) 建碑ノ由来 伊能嘉矩先生ハ明治元年遠野(以下本文略) 昭和五十七年九月

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【218】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念-53 標石-4	落成記念 標石	東北一遠野南部七福神寄付者御芳名 一、金十万円也 岩手アパレル(株)(以下117名の名前あり)
【219】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念-54 標石-5	落成記念 標石	東北一 遠野南部 七福神 此の七福神は八戸市出身の(以下本文略) 平成二十一年五月三日建立 南部神社宮司 金田一京一代
【220】	南部神社 (境内)	2009	平成21/5/3	記念-55 標石-6	落成記念 標石	東北一 遠野南部七福神 鍋倉山鎮座 社号標 平成二十一年五月三日 建立 奉納者 東穀町一―二九 山蔭 満吉 みつよ 綾織町 山田善作 南部神社宮司 金田一京一代
【41】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	—	—	歌碑-2	句碑	垂霊泉 紅一點能 渡し舟
【118】	遠野市民センター	1994	平成6/6/-	歌碑-3	句碑	雪晴も 雪に暗むも 遠野かな 汀子 本名 稲畑汀子(以下経歴略) (裏面) 平成三年NHK冬季BS遠野(以下本文略) 平成六年六月遠野市建之
【134】	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	歌碑-4	句碑	幸福ハ、生涯健康デ、仲良ク、 坊ケテ、神仏ヲ、拝メルコト、也 (台座左側面) 奉納 参宮記念
【144】	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	歌碑-5	句碑	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか流れのあらむ尋ね来し遠野静かに水の音する 平成二十五年七月四日、(以下本文略) 平成三十年七月四日 皇后陛下御歌碑建立実行委員会 会長 角田幸四郎
【145】	あえりあ遠野前	2018	平成30/7/4	歌碑-6	句碑	皇后陛下御歌 遠 野 何処にか 流れのあらむ 尋ね来し 遠野静かに 水の音する
【167】	善明寺 (境内)	—	—	歌碑-7	句碑	月を見るころ 限りのつかざりし 蘆川
【193】	岩手県立 遠野高等学校	1971	昭和46/10/-	歌碑-8	歌碑	校歌 一、城趾の西に聳ゆる麓(以下本文略) 遠高創立七十周年を記念して贈る 昭和四十六年十月 遠中第四十回卒業生 (台座正面) 浅沼浩(以下78名の名前あり)
【201】	鍋倉山 斜面	1970	昭和45/11/15	歌碑-9	句碑	迷路の多し 古城址に六角牛 ほとぎす (裏面) 昭和四十五年十一月十五日 遠野俳句会 これを建てる
【207】	鍋倉城二ノ丸	1974	昭和49/-/-	歌碑-10	句碑	花は根にかへり 真味は土に とどまる (裏面) 昭和四十九年 日家建立
【215】	南部神社 (参道)	—	—	歌碑-11	句碑	雨をりをり 思うことなき 早苗哉

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【224】	南部神社 (境内)	1995	平成7/4/吉日	歌碑-12	句碑	遠野火 眠る山めぐらし民話の里と呼ぶ(以下16名の俳句あり) 平成七年四月吉日 遠野俳句会建之 会長菊池悠人 高橋荷葉書【印】【印】 石工 山田善作
【38】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1854	嘉永7/10/26	庚申-1	庚申	庚申塔 嘉永七寅年講中 十月廿六日
【39】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1846	弘化3/初冬	庚申-2	庚申	庚申塔 弘化三初冬講中 (右側面) 明治十七甲申再建 (裏面) 日下和一(以下9名の名前あり)
【74】	遠野葬祭会館隣	—	□9/7/21	庚申-3	庚申	奉庚申 (右側面) □九 七月廿一日
【77】	遠野第二ダム 手前	—	□治□□/8/-	庚申-4	庚申	【日月】庚申 □治□□年 □□八月
【78】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申-5	庚申	【円相】庚申
【79】	遠野第二ダム 手前	1889	明治22/12/18	庚申-6	庚申	庚申塔 明治廿二年 十二月十八日
【80】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申-7	庚申	【日月】庚申
【81】	遠野第二ダム 手前	1924	大正13/旧正月/7	庚申-8	庚申	庚申 大正十三甲子年 旧正月七日 (正面下部) 菊池□(以下8名の名前あり)
【82】	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/9/-	庚申-9	庚申	庚申塔 天保十四癸□ 卯 九月
【83】	遠野第二ダム 手前	1843	天保14/7/29	庚申-10	庚申	【(梵字)】庚申 天保十四年 卯七月廿九日
【84】	遠野第二ダム 手前	1914	大正3/12/15	庚申-11	庚申	庚申塔 大正三年十二月十五日 □下與(以下4名の名前あり)
【86】	遠野第二ダム 手前	1845	弘化2/7/1	庚申-12	庚申	庚申 弘化二年 巳七月朔日
【88】	遠野第二ダム 手前	—	明治□□/11/4	庚申-13	庚申	庚申塔 明治□□□□ 十一月四日 講中
【91】	遠野第二ダム 手前	1903	明治36/10/10	庚申-14	庚申	【円相】庚申塔 明治三十六年 十月十日 講中
【92】	遠野第二ダム 手前	—	—	庚申-15	庚申	庚申塔

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【174】	鶴田稲荷	—	天保-/7/-	庚申-16	庚申	庚申 癸天保 卯七月
【191】	加茂神社	1832	天保3/5/10	庚申-17	庚申	【日月】庚申塔 講中 □壹人 (右側面) 天保三辰 (左側面) 五月十日
【87】	遠野第二ダム 手前	—	—	山岳-1	湯殿山	湯殿山
【5】	鶴田 稲荷神社	1919	大正8/旧3/15	社寺-1	三峰山	三峰山 (裏面) 大正八年旧三月十五日 萩野妙光 建之
【16】	程洞稲荷社 (境内)	1923	大正12/-/-	社寺-2	金華山	金華山 (裏面) 大正十二年 (多数名前あるが、摩耗して読めず)
【25】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	1944	昭和19/3/15	社寺-3	古峰山	古峰山 (裏面) 立花政吉(以下23名の名前あり) 昭和十九年三月十五日
【27】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	—	—	社寺-4	金毘羅	金毘羅
【53】	日枝神社 (境内)	1925	大正14/6/2	社寺-5	金華山	金華山 (右側面) 大正十四年六月二日 建之 (5段にわけて、名前(39名)あるが、摩耗して読めず)
【54】	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/6/1	社寺-6	古峯山	古峯山 (裏面) 昭和四年六月一日□□ (2段に分けて名前(23名)あるが、摩耗して読めず)
【94】	遠野第二ダム 手前	1830	文政13/2/10	社寺-7	金比羅	金比羅 長右エ 源兵 [倉]木 (左側面) 文政十三年寅二月十〔日〕
【122】	多賀神社 (入口)	—	—	社寺-8	金華山	金華山 二川□□謹書
【123】	多賀神社 (入口)	1919	大正8/3/18	社寺-9	古峯山	古峯山 二川謹書 (裏面) 大正八年三月十八日 松田松太郎(以下15名の名前あり)
【126】	合同庁舎 職員駐車場裏山	—	—	社寺-10	古峯山	古峯神社 良一
【175】	鶴田稲荷	1848	弘化5/3/10	社寺-11	金毘羅	金毘羅山 弘化五申□ 三月十日 講中 敬白
【190】	加茂神社	1922	大正11/4/23	社寺-12	金華山	金華山 (右側面) 大正十一年四月廿三日 (裏面) 西風館口蔵(以下6名の名前あり)

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【212】	南部神社 (参道)	1915	大正4/4/□	社寺-13	金華山	金華〔山〕 (裏面) 大正四年四月□日 小向長世吉(以下35名の名前あり)
【6】	田 遠野住田線沿い	—	—	神仏-1	水神	水神
【7】	田 遠野住田線沿い	1936	昭和11/閏3/8	神仏-2	水神	水神 (裏面) 昭和十一年閏三月八日 萩野勘次[郎] 立之
【8】	田 遠野住田線沿い	1948	昭和23/3/8	神仏-3	荒神	三寶荒神 (裏面) 昭和廿三年三月八日 勘次郎建
【11】	九重沢不動堂	—	[嘉][永]□/□/8	神仏-4	不動尊	不動尊 [嘉][永]□ □月八日
【18】	程洞稲荷社 (境内)	1930	昭和5/2/8	神仏-5	水神	水神 奉納 (左側面) 昭. 五. 二. 八
【20】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	神仏-6	山神	山神
【24】	欠ノ上稲荷神社 (北側参道)	—	明治3□/12/-	神仏-7	山神	山神 (右側面) 遠野町 堀切重之助(以下4名の名前あり) (左側面) 明治卅 十二月
【29】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1899	明治32/6/15	神仏-9	奉齋水速女之大神	奉齋水速女之大神 明治三十二年六月十五日 願主 立花巳之助
【30】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1955	昭和30/2/2	神仏-10	姫金神	姫金神 (裏面) 昭和三十年二月二日 及川三蔵
【31】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	1922	大正11/旧6/15	神仏-11	雷神 内稲荷大神	祈願 雷神 内稲荷大神 (右側面) 大正十一年 旧六月十五日 (左側面) 日下□□ 建之
【32】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	—	—	神仏-12	山神	山神
【33】	欠ノ上稲荷神社 (境内)	—	—	神仏-13	明神	稲荷大明神
【35】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	—	—	神仏-14	山神 荒神	山神 三寶荒神
【43】	日枝神社 (入口)	1934	昭和9/5/25	神仏-15	天満宮	天満宮 (右側面) 昭和九年五月廿五日 遠野〔町〕□□□□一同 □人會 □□一同

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【45】	日枝神社 (境内)	1901	明治34/6/1	神仏-16	日枝大神	日枝大神 (左側面) 明治三十四年六月一日 鶴田作平治(以下4名の名前あり)
【55】	三丸屋向かい	—	明治〇/旧3/12	神仏-17	山神	山神 (左側面) 明治〇年旧三月十二日 講中 (上段に名前(5名)、下段に名前(沢村仁人他7名)あるが、摩耗して読めず)
【59】	会下の十王堂	1947	昭和22/12/23	神仏-18	荒神	三寶大荒神 (裏面) 昭和廿二年十二月廿三日 會下与三郎 建之
【60】	会下の十王堂	1948	昭和23/12/23	神仏-19	山神	【カーン】山神 (右側面) 昭和廿三年十二月廿三日 會下与三郎建
【72】	上組町 跨線橋脇	1948	昭和23/旧8/8	神仏-20	荒神	三寶大荒神 (右側面) 昭和廿三年 旧八月八日
【76】	遠野第二ダム 手前	1893	明治26/2/12	神仏-21	山神	山神 (右側面) 明治廿六年二月十二日
【95】	遠野第二ダム 手前	1846	弘化3/12/-	神仏-22	山神	山神 (右側面) 弘化三丙午十二月
【97】	(有)遠野衛生社 敷地内	1947	昭和22/9/28	神仏-23	土公神	土公神 (裏面) 昭和二十二年九月二十八日 年取十二月八日 打越若松之建
【98】	(有)遠野衛生社 敷地内	1947	昭和22/9/12	神仏-24	山神	山神 (裏面) 昭和二十二年九月十二日 打越若松之立
【103】	宇迦神社 (境内)	—	安政-/-/吉日	神仏-25	山神	山神 安政 月吉日 (欠けていて一部読めず) (裏面) (碑文解読出来ず)
【121】	多賀神社 (入口)	—	—	神仏-26	山神	山神
【130】	伊勢両宮神社 (境内)	1931	昭和6/旧2/12	神仏-27	水神	奉齋〔右〕乃水神塔 昭和六年旧二月十二日
【133】	伊勢両宮神社 (境内)	1890	明治23/10/12	神仏-28	山神	山神 (裏面) 明治廿三年 十月十二日 菊池まち (台座①裏面) 昭和二十五年四月十一日
【137】	卯子酉神社	1863	文久3/4/8	神仏-29	明神	卯子酉大明神 文久三癸亥四月八日 村兵〔式〕敬書
【138】	卯子酉神社	—	—	神仏-30	水神	水神

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【139】	卯子酉神社	1924	大正13/12/27	神仏-31	金神目	金神目 大正十三年 十二月二十七日
【154】	智恩寺 (能王稻荷神社)	1982	昭和57/10/12	神仏-32	山神	和脩吉龍王山神 昭和五十七年十月十二日
【169】	善明寺 (境内)	1865	慶應1/3/21	神仏-33	弘法大師	【ウーン】 弘法大師 慶應元乙丑三月廿一日 願主 菅沼藤左エ門
【188】	遠野町民家前 下組町との境	1917	大正6/12/18	神仏-34	水神	水神 大正六年 十二月十八日
【189】	加茂神社	1931	昭和6/旧7/17	神仏-35	水神	水神 (左側面) 昭和六年旧七月十七日 建之
【199】	鍋倉・市立図書館 付近	—	—	神仏-36	荒神	三寶大荒神 姫金神
【56】	三丸屋向かい	1936	昭和11/9/5	馬畜-1	馬頭観世音	馬頭観世 昭和十一年九月五日 會下寅
【57】	三丸屋向かい	1918	大正7/-/-	馬畜-2	馬頭観世音	馬頭観口 大正七年 村上小市
【66】	上組町 駒形神社	1821	文政4/9/29	馬畜-3	馬頭観世音	馬頭観世音 文政四辛巳年 勘太 九月廿九日 平治
【67】	上組町 駒形神社	—	—	馬畜-4	駒形神社	駒形神〔社〕 願主 太田〔馬〕
【68】	上組町 駒形神社	1928	昭和3/7/-	馬畜-5	馬頭観世音	【円相】馬頭観〔世〕 昭和三年七 白金藤口建
【69】	上組町 駒形神社	1919	大正8/6/13	馬畜-6	馬頭観世音	【円相】馬頭観世音 大正八年六月十三日 藤齊伊勢松 建之
【70】	上組町 駒形神社	1891	明治24/5/7	馬畜-7	馬頭観世音	馬頭観世音 明治廿四年五月七日 長谷口条助建
【71】	上組町 駒形神社	1858	安政5/8/23	馬畜-8	馬頭観世音	馬頭観世音 安政五午年 八月廿三日 (裏面) 願主 菊池屋与兵衛
【85】	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/-/-	馬畜-9	駒形大社	駒形大〔社〕 (裏面) 明治四十一年
【89】	遠野第二ダム 手前	1928	昭和3/9/13	馬畜-10	駒形大神	駒形大〔神〕 (裏面) 昭和三年九月十三日 森川春〔治〕 〔建〕

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【90】	遠野第二ダム 手前	1908	明治41/9/1	馬畜-11	馬頭観世音	馬頭観世音 明治四十一年九月一日 菊池吉之助建
【93】	遠野第二ダム 手前	1935	昭和10/3/28	馬畜-12	馬頭観世音	馬頭観世音[音] 栗毛 昭和十年 三月廿八日 小井
【96】	遠野第二ダム 手前	1858	安政5/9/2	馬畜-13	馬頭観世音	馬頭観世音 安政五年 九月二日
【127】	六日町住宅街 水路脇	—	—	馬畜-14	駒形大神	駒形大神
【192】	加茂神社	1940	昭和15/7/吉日	馬畜-15	馬頭観世音	馬頭観世音 (裏面) 昭和十五年七月吉日 松田豊吉 建之
【198】	下屋稲荷神社	1923	大正12/11/8	馬畜-16	駒形大神	駒形大神 (右側面) 大正十二年十一月八日 建之 高橋善太郎
【73】	遠野葬祭会館隣	1744	延享1/7/吉祥日	念仏-1 追分-2	念仏供養 追分	【円相】念佛供養 (右側面) 右はかまい志道 (左側面) 左はをふつち道 (裏面) 延享甲子天 七月吉祥日
【75】	遠野葬祭会館隣	—	文□2/7/12	念仏-2	南無阿弥陀仏	【円相】南無阿弥陀佛 文□二□年 七月十二日 建之
【136】	下同心枡形	1846	弘化3/9/25	念仏-3	南無妙法蓮華經	南無妙法蓮華經 賜紫身延 日仲 六十四代【花押】 (右側面) 每自作是念 以何令衆生(以下本文略) (左側面) 一天四海皆婦妙法後五百歳(以下本文略) 弘化三丙午年九月二十五日 (裏面) 願主 工藤重之進廣友 石工 佐四郎□宣七十四
【160】	常福寺 (境内)	—	—	念仏-4	南無阿弥陀仏	【キリク】千月回□南無阿弥陀佛
【166】	善明寺 (境内)	—	-/4/8	念仏-5	南無阿弥陀仏	【日月】【卍】南無阿弥陀佛 當寺□□五世 居 (文字あるが、摩耗して読めず) (左側面) 四月八日
【186】	対泉院付近 来内川沿い	1964	昭和39/11/吉日	念仏-6	南無妙法蓮華經	南無妙法蓮華經 (左側面) 昭和三十九年十一月吉日建之
【47】	日枝神社 (境内)	1929	昭和4/5/-	亡者供養-2	死没者供養	消防追悼碑 (裏面) 昭和四年五月竣工 建設委員長 警部 板橋長右衛門(以下11名の名前あり) (台座②裏面) 石工 菊池隆太郎 小松五松 菊池春吉

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【155】	瑞応院	2013	平成25/3/-	亡者供養-3	死没者供養	鳳徳山瑞應院 安寧地藏菩薩 (裏面) 瑞應院有縁無縁諸精霊菩提 東日本大震災物故者菩提 平成二十五年三月 十七世臥雲智龍 合掌
【159】	常福寺 (参道)	-	-	亡者供養-4	萬霊	三界萬霊
【165】	善明寺 (入口)	1979	昭和54/8/孟蘭盆	亡者供養-5	萬霊	三界萬霊 (右側面) 昭和五十四年乙未八月孟蘭盆 □願主富山第五十三世信阿併拜吉
【170】	善明寺 (境内)	1933	昭和8/5/28	亡者供養-6	萬霊	無縁塔 (左側面) 昭和八年五月二十八日 第五十世善誉代
【181】	大慈寺 (境内)	1937	昭和12/10/23	亡者供養-7	戦没者供養	物故軍人追悼碑 陸軍大将井上幾太郎書 (右側面) 昭和十二年十月二十三日建之 (裏面) 石工 河村慶一
【182】	大慈寺 (境内)	1818	文政1/-/-	亡者供養-8	萬霊	【円相】三界万霊等 (右側面) 文政元戊寅 (下部に文字あるが、摩耗して一部読めず)
【26】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1849	嘉永2/旧6/15	畜霊供養-1	畜霊供養	龜塚 (裏面) 嘉永二酉年 旧六月十五日
【28】	欠ノ上稲荷神社 (遥拝所脇)	1917	大正6/11/吉日	畜霊供養-2	畜霊供養	蛇王権現 (右側面) 大正六年十一月吉日 立花巳之助 (左側に2行文字、下に名前(3名)あるが、摩耗して読めず)
【44】	日枝神社 (境内)	1933	昭8/7/28	畜霊供養-3	畜霊供養	蠶霊塔 (右側面) 昭和八年七月二十八日 (台座②右側面) 発起人 清見剛雄(以下9名の名前あり) 石工 小松三三松
【51】	日枝神社 (境内)	1972	昭和47/11/15	畜霊供養-4	畜霊供養	愛犬乃碑 遠野市長工藤千蔵書 (台座①正面) 獣医師 加茂良三(以下5名の名前あり) 遠野市 宮守村 岩手県遠野保健所 昭和四十七年十一月十五日建立 石工 山田善一
【99】	遠野市斎場	-	-	畜霊供養-5	畜霊供養	永遠の丘 ペット供養塔 (左側面) 遠野市斎場管理事業協同組合
【135】	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	畜霊供養-6	畜霊供養	蜜蜂 兎鶏 供養塔 (裏面) 昭.五二.八 佐々木三郎 刻建
【114】	とおの物語の館	-	-	追分-3	追分	左ハ はやち祢 右ハ た加の春

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【9】	遠野第二ダム	—	—	標石-7	標石	遠野第二ダム 岩手県知事 達増拓也書
【10】	九重沢不動堂	〔1928〕	〔昭〕〔和〕3/11/10	標石-8	標石	九重沢不動尊碑 〔昭〕〔和〕三〔年〕 御大典記念 (右側面) 昭和三年十一月十日 (左側面) 奉納者 遠野町字穀町平澤庄右衛門
【12】	程洞稲荷社 (入口)	1977	昭和52/8/-	標石-9	標石	程洞社参道 (裏面) 昭. 五二. 八. 三郎刻建
【13】	程洞稲荷社 (入口)	—	—	標石-10	標石	奉納
【19】	程洞稲荷社 (境内)	1977	昭和52/7/-	標石-11	標石	霊水 (左側面) 奉納 下組町三郎 作 (裏面) 昭. 五二. 七
【34】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	1931	昭和6/旧6/15	標石-12	標石	欠ノ上稲荷神社 (右側面) 昭和六年旧六月十五日 (左側面) 奉納者 遠野町及川西藏
【42】	日枝神社 (入口)	1929	昭和4/旧6/1	標石-13	標石	日枝神社 (左側面) □□□□□□ (裏面) 昭和四年旧六月一日 奉納 遠野町 平澤七蔵
【100】	宇迦神社 (入口)	1961	昭和36/旧3/12	標石-14	標石	旧蹟一里塚 一里塚の濫觴は「吾妻境」に(以下本文略) 昭和三十六年旧三月十二日 (裏面) 七七十里 花巻郡山大槌釜石十八里高田岩谷堂(以下本文略)
【101】	宇迦神社 (境内)	1997	平成9/1/吉日	標石-15	標石	遠野郷最大の一日子火事 明治二十四年五月、石倉町酒造場から、(以下本文略) 平成九丁丑年一月吉日
【106】	蔵の道ひろば	—	—	標石-16	標石	蔵の道ひろば
【108】	大工町通り沿い	1986	昭和61/4/26	標石-17	標石	高善旅館跡 (左側面) 柳田国男先生御投宿 (裏面) 昭和六十一年四月二十六日 遠野市
【109】	大工町通り沿い	—	—	標石-18	標石	裏町
【111】	大工町通り沿い	—	—	標石-19	標石	中同心 (右側面) 長柄組 (左側面) 持筒同心 (裏面) 裏町
【120】	多賀神社 (入口)	—	—	標石-20	標石	多賀神社 舊蹟多〔可〕の里 千葉重胤謹書

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【128】	伊勢両宮神社 (入口)	1930	昭和5/3/14	標石-21	標石	伊勢両宮神社 (裏面) 昭和五年三月十四日参拝 (台座②正面) 奉納 参宮記念 及川福三(以下9名の名前あり)
【132】	伊勢両宮神社 (境内)	1977	昭和52/8/-	標石-22	標石	神明流跡 昭.五二.八. 佐々木三郎 建之
【140】	卯子酉神社脇	1977	昭和52/8/-	標石-23	標石	五百羅漢 登口 (裏面) 昭.五二.八.刻建. 佐[リ]木 三郎
【143】	遠野 簡易裁判所前	1998	平成10/3/-	標石-24	標石	信成堂跡(江刺県庁舎) (右側面) 信成堂とは「信以成之」の意で(以下本文略) (左側面) 嘉永五年(一八五二)(以下本文略) (裏面) 漢字. 詩歌. 書画を好む者が(以下本文略) 平成十年三月 岩手県青少年育成委員会 山田善作
【149】	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石-25	標石	北身延波木井山智恩寺 (右側面) 南無勅賜立正大師日蓮大菩薩六百五十遠忌報恩謝徳 (左側面) 波木井殿霊場(以下本文略) (裏面) 大正十三年太才甲子十月十三(以下本文略)
【150】	智恩寺 (入口)	1924	大正13/10/13	標石-26	標石	南無妙法蓮華經 開基 日高【花押】 (右側面) 波木井殿霊場北身延智恩寺(以下本文略) (左側面) 銘 赫口々神州兵航東旅順日(以下本文略) (裏面) (文字あるが立地上一部しか読めず)
【156】	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石-27	標石	柳玄寺
【157】	柳玄寺 (入口)	1940	昭和15/2/24	標石-28	標石	曹洞宗 (裏面) 施主 當山廿世惲禪代 萬屋五代政五郎 昭和十五年二月廿四日
【158】	柳玄寺 (墓所)	1981	昭和56/11/28	標石-29	標石	釜鳴神之碑 柳田國男著 遠野物語拾遺九三話 (初版本明治四十三年) 遠野一日市の乍平という家が(以下本文略) (左側面) 遠野市長工藤千蔵氏および(以下本文略) 昭和五十六年十一月二十八日 綾織町 石匠 山田善作
【162】	善明寺 (入口)	-	-	標石-30	標石	錦洞文庫記念館 (右側面) 寺宝寺什名僧墨蹟日中古今名華文房四宝美術書冊収蔵 (左側面) 拝觀予約制 冬期休館 (裏面) 車止
【163】	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石-31	標石	善明寺 (裏面) 大正十五年五月三日

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別		銘文
【164】	善明寺 (入口)	1926	大正15/5/3	標石-32	標石	金光山 (裏面) 施主 山尾判十郎
【177】	大慈寺 (入口)	—	—	標石-33	標石	殺生禁前川
【178】	大慈寺 (入口)	—	—	標石-34	標石	葷酒禁山門
【183】	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石-35	標石	白泉山萬福寺 (右側面) 大正十年七月十三日 當山十四世靈鷲代
【184】	萬福寺 (入口)	1921	大正10/7/13	標石-36	標石	眞宗大谷派 (左側面) 施主 萬守三 小川賢吾
【187】	下組町バス停前	1977	昭和52/8/-	標石-37	標石	程洞社. 登 金勢社. 口 (左側面) 昭. 五二. 八 下組工業[所](以下本文略) (右側面) (程洞社への地図あり)
【197】	下屋稻荷神社	1931	昭和6/5/9	標石-38	標石	正一位下屋稻荷神社標 (左側面) 昭和六年五月九日 高橋善太郎建之
【204】	鍋倉城二ノ丸	—	—	標石-39	標石	洗心のところ
【210】	南部神社 (入口)	1957	昭和32/5/7	標石-40	標石	遠野公園 南部神社 (右側面) 謹書 高橋好見 (左側面) 石工 小原藤市 (裏面) 昭和三十二年五月七日建之 筆頭総代 奥寺口太郎代
【211】	南部神社 (入口)	1990	平成2/11/吉日	標石-41	標石	南部神社 (裏面) 平成二年十一月吉日 遠野南部第三十七代光徹謹書
【221】	南部神社 (境内)	1920	大正9/9/17	標石-42	標石	鍋倉神社 (右側面) 大正九年九月十七日 (左側面) 波木井實長 第三十五代 従四位男 南部義信 謹書 (本体②) 奉納者 石直喜十郎(以下26名の名前あり)
【222】	南部神社 (境内)	2004	平成16/4/-	標石-43	標石	社号標について 本社の祭神は約700年間(以下本文略) 大鶴堰について 遠野南部家は代々月山(以下本文略) 平成16年4月 奉納者 山田善作
【225】	南部神社 (境内)	1991	平成3/5/3	標石-44	標石	この清水は歴代遠野南部藩 主(お殿様)が愛用された水です。 奉納平成三年五月三日 遠野市綾織町 山田善作
【226】	南部神社 (一乗稻荷 大明神)	1996	平成8/12/吉日	標石-45	標石	一乗稻荷大明神 (左側面) 平成八年十二月吉日 宮司 金田一京一 山田善作

通番	地点名	西暦	和暦月日	種別	銘文
【3】	遠野ダム脇	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【4】	遠野ダム脇	—	—	不明	[神] (左右に文字あるが、解読出来ず)
【14】	程洞稲荷社 (入口)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【15】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【17】	程洞稲荷社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【21】	程洞稲荷社 霊水場	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【37】	欠ノ上稲荷神社 (南側参道)	—	—	不明	[齋][所]
【40】	欠ノ上稲荷神社 (裏手)	1930	昭和5/9/3	不明	(碑文解読出来ず) (右側面) 昭和五年九月三日 遠野町 開設者 平澤庄右エ門 (左側面) 世話人
【48】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【49】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【50】	日枝神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【58】	三丸屋向かい	1829	文政12/9/19	不明	【ア】月峯[道][建] 文政十二巳 九月十九
【107】	八坂神社	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【113】	とおの物語の館	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【125】	合同庁舎 職員駐車場裏山	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【129】	伊勢両宮神社 (境内)	1917	大正6/3/30	不明	(碑文不明) (裏面) 大正六年三月三十日 松崎順吉 菊池利蔵 伊勢永蔵
【131】	伊勢両宮神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)
【206】	鍋倉城二ノ丸	1980	昭和55/-/-	不明	不明 我不愛身命 但惜無上道 (裏面) 昭和五十五年春彼岸(以下本文略)
【223】	南部神社 (境内)	—	—	不明	(碑文解読出来ず)

5. 考察

本項では今回調査した石碑のうち、遠野町で多かった顕彰記念碑、標石、畜霊供養塔を中心に考察を述べる。

(1) 顕彰記念碑

人物の功績を讃える顕彰碑や落成記念碑が多く、漢文でつづられている顕彰碑も多かった。ここでは遠野出身の2人の人物について取り上げる。

【202】愛國心とは蓋し愛郷心の延長のみ而て 真の郷土の愛は甘棠の愛より来る
伊能嘉矩 (以下本文略) / 平成七年八月十日 / 遠野市戦後五十年 平和
祈念事業実行委員会 (鍋倉公園展望台付近)

【217】余は今回の南遊査祭の途に上らんとするに當り自ら三條の方則に立てたり
(以下3条あり) / 昭和五十七年九月 / 法政大學總長 中村哲【印】撰書
(南部神社参道)

伊能嘉矩は慶應3年(1867)遠野に生まれ、明治26年(1893)東京帝国大学の坪井正五郎から人類学を学んだ。明治28年(1895)に台湾に渡り、10年間にわたって原住民の調査・研究を行った。遠野に帰ってからは、台湾研究を進めるかたわら、柳田國男や佐々木喜善、ネフスキーなどの民俗学者と交流し、『遠野物語』の成立にも影響を与えた。台湾研究の大著『台湾文化志』は、現在も国際的に高い評価を受けている。【202】は大正2年(1913)刊行の伊能の著書『遠野史叢』の中の言葉であり、【217】は台湾での調査にあたり自ら立てた3条が刻まれた石碑である。

【141】顕彰碑 東北民謡の父 武田忠一郎先生 (以下本文略) / 平成九年十月
二十六日 / 武田忠一郎氏を顕彰する推進委員会 (遠野簡易裁判所前)

武田忠一郎は明治25年(1892)遠野に生まれ、県下各地で教員生活を送るが、少年時代から興味をもっていた民謡とわらべ唄の本格的な研究の為東洋音楽学校に通い、大正7年(1918)に卒業した。その後女学校で教鞭をとるかたわら、東北各地を訪ねて採譜の仕事が続けた。昭和16年(1941)NHK中央放送局に入り、昭和37年(1962)までに『東北民謡集全8巻』を完成させた。また、昭和30年(1955)には「東北民謡学校」を開設し、校長に就任した。この石碑はその功績を讃えて建立されたもので、東北民謡の父として今も顕彰されている。

(2) 標石 (跡地)

遠野の代表的な跡地 3ヶ所について取り上げる。

【100】 旧蹟一里塚 一里塚は (以下本文略) / 昭和三十六年旧三月十二日 / 岩手県立遠野高等学校 教諭 及川勝徳撰 (宇迦神社入口)

遠野地方の一里塚の基点は、宇迦神社の境内の一里塚だといわれている。旧遠野町唯一の塚で、この塚上にはナラの大木があったといわれる。このナラの木は、明治 24 年 (1891) の遠野町大火の時焼失したといわれ、この大火について刻まれた石碑も同境内に建立されている。

【108】 高善旅館跡 / 昭和六十一年四月二十六日 (大工町通り沿い)

高善旅館は柳田國男が遠野に来た際に宿泊した宿で、明治から昭和にかけての遠野を代表とする旅籠として知られている。柳田をはじめ、折口信夫、ネフスキーなどが宿泊し、民俗学の拠点となった場所である。以前は中央通り 4 地割にあったが、『遠野物語』の草創に深くかかわった宿として、現在はとおの物語の館に移築され、柳田の生涯や遠野での足跡を紹介している。

【142】 遠野教育発祥の地 / 平成元年 8 月吉日 / 昭和 16 年度国民学校 卒業生還暦祝賀會事業 (遠野簡易裁判所前)

【143】 信成堂跡 (江刺県庁舎) / 平成十年三月 / 岩手県青少年育成委員会 山田善作 (遠野簡易裁判所前)

信成堂は嘉永 6 年 (1853) に田中主一郎、工藤謹之助、江田大之進の献策によって南部濟賢の建てた郷校である。「文を以て内 (心) を養い武を以て外 (身) を修める「内外培養」を教育方針とし、幾多の秀れた人材を輩出した。明治 2 年 (1869) に江刺県庁が置かれたため、信成堂は廃止され別に修堂館が設けられ江刺県庁直轄の文学教習場となった。【142】は嘉永 6 年に信成堂を開いた時から昭和 46 年 (1971) の市民センター設立までの遠野教育の小史をまとめたもので、【143】は信成堂の教育方針が刻まれている。

(3) 畜霊供養塔

私たちが食用に供するほか皮革や薬用に利用した、鳥獣類より受ける恩恵対して感謝の意を表わし、その犠牲となった霊を慰めるために古来各種の供養塔が造立されている。旧遠野町にあった 2 基【44】【135】がそれにあたる。また、愛玩用に飼育されているものに対して、感謝の意を表したもの 1 基【26】についても取り上げる。

【44】 蠶霊塔 / 昭和八年七月二十八日 / 発起人 清見剛雄 櫻庭榮一郎 村上順吉 奥寺丑太郎 新里カツ 浅沼英喜 萬喜八 多田孝吉 / 兼世話人 高橋吉太郎 鶴田宗十郎 / 石工 小松三二松 (日枝神社境内)

日本の主要輸出品であった生糸の盛期と石塔造立は時期を同じにしており、「蠶霊塔」や「蠶神塔」といった蚕の石碑は、幕末から明治・大正期が最も多いといわれている。遠野における近代製糸の父である殖産家の山奈宗真は明治16年(1883)に県当局に養蚕奨励のことを陳情請願し、桑苗等を植え付け、それとともに有志に賛同を求め、今日の株式会社様式の資金をつくり製糸工場を開設した。石碑を建立した人物達との関係は不明であるが、この石碑は山奈につづく養蚕業の歴史を知る上で貴重である。

【135】 蜜蜂 兎鶏 供養塔 昭.五二.八 佐々木三郎 刻建 (伊勢両宮神社境内)

この石碑は神社境内に建立されている石碑で、兎や鶏を食用に供した霊の供養のために建てられたのだろう。文献を見ると牛などの家畜や魚や虫など様々な生き物の供養塔が全国で建てられているが、蜜蜂は珍しい。建立者は、養蜂のほか、兎や鶏の飼育販売を行っていたと考えられる。

【26】 龜塚 嘉永二酉年旧六月十五日 (欠ノ上稲荷神社遥拝所脇)

かつて釜石湾において捕獲した大亀を、欠ノ上稲荷神社に奉納した者がいて長い間欠ノ上稲荷で飼育していた。その亀が死んだとき、肉をこの地に埋め、塚を作りその霊を祀ったものであるということである。甲羅はその後永く社内に懸け置いたが、今は紛失してないということである。

(4) まとめ

今回調査した遠野町には、信仰碑や神仏碑などが他の地域に比べると少なく、上記で述べたような顕彰碑や標石や畜霊供養塔が多い。またそのような石碑は近現代に建てられたものが多いため造立年代が新しいものが多い。また寺院・神社が多いことから、狛犬や石鳥居、石燈、地蔵等(今回の調査表からは除外)が158基と多かった。これらは市中心部の特徴であるといえる。

複数の石碑がまとまって建立されているのは寺院や神社であるが、遠野第二ダム手前にも石碑群がある。18基もの石碑がここ数十年につくられたであろう台座に置かれ、その周辺にも石碑が建てられている。様々な年代、様々な種類の石碑が一ヶ所にあることから、道路やダム建設の際に移動された石碑であると思われる。

また、その他の路傍の石碑も周囲の草刈りが行き届いて、最近供えられたであろう線香やお花が見受けられた。地域や寺院や神社で大切に祀られている石碑が町の中に数多くあり、今なお信仰の厚さが窺われる。